

NeMo

DP4426-04b-MG

NEXO

NEXO NeMo

システム管理ソフトウェア



🇬🇧 Windows、macOSおよびiOS用ユーザーマニュアル
v3.0

NEXO NeMoをダウンロードしていただき、ありがとうございます。本マニュアルでは、NEXO NeMoの機能を紹介し、使用方法をステップバイステップで説明します。

概要

NEXO NeMoは、NEXO製品（NXAMPmk2およびNXAMPのパワードTDコントローラー、DTDデジタルTDコントローラー）のリモートコントロール用Appです。iOS機器からWi-Fiネットワーク経由で、あるいはWindowsまたはmacOSのデスクトップコンピューターから有線またはWi-Fiネットワーク経由で、1台または複数台のNEXO機器をコントロールできます。洗練された直感的なユーザーインターフェースから、アンプの管理と配置、アンプパラメーター（Levelなど）のモニタリング、および値（プリセット、ボリューム、ディレイ、EQなど）の設定を行なえます。また、NEXO NeMoにはログ記録、アラート、メール送信を行なうための強力なエンジンも付属しています。

主な機能は以下のとおりです。

- オフラインセッションの作成と編集
- オフライン機器のプロトタイプとオンライン機器の高度なマッチング（デスクトップ版のみ）、およびオンラインNEXO機器の検索
- 接続されたNEXO機器の2Dでの表示および配置
- カスタマイズした背景画像の追加および明度と不鮮明度の編集
- グループ化（機器をグループに分類、チャンネルをゾーンに分類）による複数機器のコントロール、およびグループとゾーンの2D表示
- 機器、グループ、またはゾーンのクイックミュート、クイックソロ、およびネットワーク全体のステータス（ピークやプロテクトを含む）のクイックモニタリング
- スタンダードライブラリからのセットアップの選択、またはカスタムセットアップの作成
- 複数のNEXO機器のパラメーター（各出力チャンネルのMute/Solo、Input level/Output level、Volume、Delay、Gainなど）の同時モニタリングおよび同時コントロール
- 入力チャンネルから出力チャンネルへのパッチング
- EQとコンプレッサーの表示および編集
- シーンの保存および呼び出し
- すべてのコントロール手順を元に戻す/やり直し、1台の機器から複数台の機器へのシーンまたはパラメーターのコピー/貼り付け
- セッション（.nemoファイル）を使用したユーザー設定の保存および共有
- カスタムコントロールスペースの構築、ユーザー権限管理によるセッションへのアクセスの設定

- 異なるレベルごとに設定可能な警告方法の管理
- NeMoがオンラインのとき記録可能なNEXO機器のあらゆる値（温度、電圧、電流など）のログの表示、書き出し、およびメール送信
- 詳細に設定可能なLiveモード
- アプリケーションテスト用のDemoモード
- ポートレート表示での使用（iPhone）、ポートレートまたはランドスケープ表示での使用（iPad）フルスクリーンおよびマルチウィンドウでの使用（デスクトップ）

アプリケーションを使用するには、NXAMPに拡張カードNXAEDT、NXDT104、NXAE104のいずれかを取り付けるか、ネットワーク版のDTDが必要です。また、NXES104をリモートでコントロールするにはAVS-Serviceが必要です（macOS/iOS版NeMo v2のみ対応）。サポートされるNEXO機器の数に理論上の制限はありません。1台のNXAMPに同時に接続できるNeMo（またはAVS-Monitorなどその他のクライアント）は2つまでです。DTDに接続できるNeMoは1つまでです。

v3.0の新機能

- Windows用NEXO NeMoがついに登場です！

注

本稿執筆時点において、ご利用いただけるNEXO NeMoの最新バージョンは、macOSおよびiOS用バージョン2.4です（Apple Storeから入手できます）。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

NEXO NeMo使用上の注意

ライブイベント中に本Appを使用する場合は、特別な注意が必要です。特に、Liveモードをオンにする必要があります。

NEXO機器およびコンピューター/モバイル端末は最新のファームウェアに更新し、コンピューターには最新バージョンのAVS-ServiceおよびAVS-Monitorを必要に応じてインストールしてください。

NeMoの動作状況は無線/有線ネットワーク状況に依存します。

概要	2
v3.0の新機能	3
NEXO NeMo使用上の注意	3
使用前の準備	7
NEXO対応機器	7
ネットワーク構成	7
WindowsおよびMac	9
iOS	10
デスクトップ版NeMoとモバイル版NeMoはそれぞれ単独で稼働	11
FOOTNOTES	11
はじめに	12
ヒント: AVS-Monitorからの読み込み	12
新しいセッションの開始	12
外観	13
マッチング	16
「Network」タブ	21
機器、グループ、ゾーンのマップ	21
選択	22
セルの配置	23
ヒント: グリッドに合わせる	23
ヒント: オンラインの機器またはオフラインのプロトタイプの表示	24
機器とチャンネルのグループ化	24
機器のセル	25
グループセル	27
ゾーンセル	27
重要: レイテンシー	29
ズームイン/ズームアウト	29
スクロール	29
背景画像	29
クイックミュート/ソロビュー (iPadのみ)	31
セ렉ター	31
カスタムネットワークマップ	36
カスタムネットワークマップの保存と共有	41
重要: 規則	44

重要: 選択した機器	44
「Recap」 タブ (デスクトップ版のみ)	45
機器に関する情報の表示	45
チャンネルに関する情報の表示	46
ヒント: 排他ソロ	46
「Control」 タブ	47
パラメーターの設定	47
複数の値	49
複数チャンネルのパラメーターの設定	51
セットアップピッカー (デスクトップ版のみ)	52
EQの編集	53
EQライブラリ	56
コンプレッサーの編集 (DTDのみ)	59
シーンピッカー (デスクトップのみ)	59
コピー/貼り付け	60
元に戻す/やり直し	61
すべてのリセット	61
注意: ビューの更新	61
「Setup」 タブ	62
ツールバーの表示 (小型画面のみ)	62
セットアップライブラリの読み込み	62
NEXOセットアップおよびカスタムセットアップ	62
現在のセットアップ	62
NEXOセットアップの呼び出し	63
カスタムセットアップの作成	63
複数の値	64
不明な値	65
「Scene」 タブ	66
シーンの読み込み	66
現在のシーン	66
シーンの保存	66
シーンの呼び出し	66
複数の値	67
コピー/貼り付け	67
読み込み/書き出し	68

シーンライブラリ	69
ヒント: シーンのドラッグアンドドロップ (デスクトップ版のみ)	70
シーンの削除	70
セッションの終了	71
セッション	72
「Sessions」メニュー	73
セッションの作成、保存および移動	73
セッションの編集	74
ユーザープロファイルの指定	74
セッションの書き出し (モバイル版のみ)	77
セッションの書き出し (デスクトップ版のみ)	78
セッションの読み込み (モバイル版のみ)	79
セッションの読み込み (デスクトップ版のみ)	80
セッションの削除	80
その他の保存データ	82
環境設定	82
プリセットライブラリ	82
セキュリティ	85
Liveモードへの切り替え	85
Liveモードの設定	85
ログ、アラート、およびタスク	86
Log Record	86
ヒント: 選択したパラメーターおよび機器	91
アラート、タスク、およびシステムステータス	93
レッドアラート	96
アクティビティ	97
エラーメッセージ	99
ヒント: 応答しない機器の自動更新	99
付録A: 使用可能なNEXO機器のパラメーター	100
NXAMP	100
DTD	103

使用前の準備

NEXO対応機器

NXAMP

すべてのNEXO NXAMPは、NXAEDT、NXRM104（NXAMPmk2のみ）、NXDT104、またはNXAE104カードを取り付け、ローカルネットワークに直接または他のネットワーク機器（スイッチなど）を介して接続する必要があります。チェーン最上位の機器（「プライマリマスター」という）は、拡張カードのプライマリポートまたはリモートポートを介してネットワークに接続する必要があります。

NXAMPは常に最新のファームウェアバージョンに更新しておくことをおすすめします。最新のファームウェアバージョンは<http://nexo-sa.com/software>から入手できます。

注意

拡張カードNXES104を取り付けたNXAMPmk2およびNXAMPは、NeMo v3との互換性がなくなりました。macOS版およびiOS版NeMo v2とAVS-Serviceを組み合わせで使用するか、Windows上でAVS-Monitorを使用する場合は、現在でもリモートコントロールに対応できます。NeMo v2およびユーザーガイドの入手については、NEXOにお問い合わせください。

注意

第1世代のNXDT104を取り付けたNXAMPmk2をNeMoでコントロールする場合は、機能が制限されます。NeMoを使用して完全にコントロールする場合は、NXDT104mk2を使用してください。

DTD

DTD-T-NまたはDTD-I-NのDanteポートを、NeMoが接続されているローカルネットワークに（無線または有線で）接続します。

DTDは常に最新のファームウェアバージョンに更新しておくことをおすすめします。最新のファームウェアバージョンは<http://nexo-sa.com/software>から入手できます。

ネットワーク構成

Wi-Fiアクセスポイント（デスクトップ版NeMoの場合はオプション）

Wi-FiアクセスポイントはNEXO機器のローカルネットワークに接続し、メーカーの指示に従って設定する必要があります。速度と堅牢性の観点で最適な構成を構築するポイントを以下に示します。

- 可能な場合は802.11n対応のルーターを選択します。すべてのモード（5 GHz帯では802.11n/a、2.4 GHz帯では802.11n/b/g）のサポートを有効にすることをおすすめします。5 GHz帯は2.4 GHz帯より干渉に強いですが、一般的に電波が届く範囲が狭

くなります。帯域幅は2.4 GHz帯に20 MHz、または5 GHz帯に20/40 MHzを選択します。

- 堅牢で電波が広範囲に届くWi-Fiネットワークを構築するために、アダプティブアンテナおよびアダプティブビーム放射機能を搭載した業務用ルーター（Ruckus Wirelessなど）を使用することをおすすめします。
- 静的IPアドレスを割り当てるのではなくDHCPを使用します。ネットワーク内のDHCPサーバーは1台のみにします。いずれかの機器（AVS-Serviceを実行しているコンピューターなど）に静的アドレスを割り当てるには、ルーターの設定インターフェースを開きます。
- アクセスポイントのファームウェアが最新になっていることを確認します。
- 無線ネットワークに一意のSSID名を指定します。
- セキュリティモードは推奨のWPA2-Personal（AES）、または少なくともWPA/WPA2を選択します。
- セキュリティがアクセスポイントより上流で確保された上で、Wi-Fiアクセスポイントの「*Hidden network*」パラメーター、および「*MAC (Media Access Control) address filtering*」をオフにします。
- 可能な場合、「*Auto Channel Selection*」を選択します。選択しない場合は、選択したチャンネルが、他のルーターおよび電波干渉源（電子レンジ、衛星アンテナのケーブル、電力線、その他の電気発生源、電話、ビデオ送信機、無線スピーカー、2.4/5 GHz帯で稼働するその他の無線機器）の影響を受けないことを確認します。Wi-Fi診断ソフトウェアを使用すると、この確認を行なえます。
- NeMo使用中のレイテンシーが高い場合、ルーターの再起動を試します。

詳しくは、ルーターのマニュアル、および推奨設定に関するApple社やMicrosoft社の記事などをご参照ください¹。

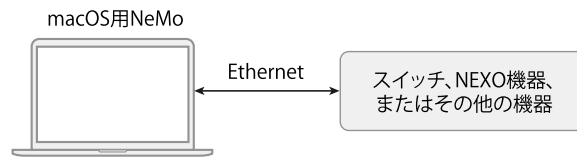
構成

以下の図に、最適な構成を示します。プライマリマスター機器はコンピューターに直接接続できます（コンピューターにネットワークアダプターが2つ取り付けられている場合）。スイッチを使用すると、プライマリマスターを複数にできます。NEXO以外の機器（コンソール、ツールボックス、Stage Boxesなど）をネットワークに接続できます。ホストコンピューター（AVS-Serviceを実行）とNXAMP間に無線リンクを使用しないことをおすすめします。一般的に、オーディオネットワークと（NeMoを接続する）コントロールネットワークは分離させます。また、その他の独自ネットワーク（Lakeなど）を分離させることが必要な場合もあります。

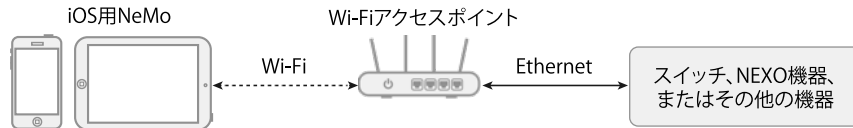
注

本マニュアルにおいて、デスクトップ版NeMoとはWindowsまたはmacOS用NeMoを、モバイル版NeMoとはiOS用NeMoを指します。

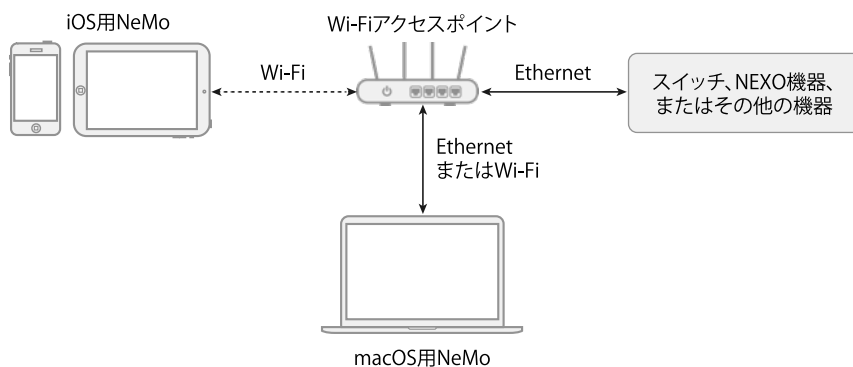
デスクトップ版NeMoを使用したシンプルな構成



モバイル版NeMoを使用したシンプルな構成



モバイル版NeMoおよびデスクトップ版NeMoを使用した推奨構成



WindowsおよびMac

Windows

Windowsコンピュータは、Windows 7以降を搭載している必要があります。

NEXO NeMoをインストールするには、以下の手順を実行します。

1. <https://nexo-sa.com/nemo>にアクセスしてNEXO NeMoの最新版をダウンロードします。
2. ダウンロードしたアーカイブを解凍します。「NEXO_NeMo_Setup_x86_x.x.x.exe」をダブルクリックし、インストーラーの手順に従います。
3. 「Program Files」（またはインストーラーで選択した他のパス）に移動し、「NEXO」フォルダの中の「NEXO NeMo.exe」をダブルクリックして、アプリケーションを起動します。
4. アーカイブに含まれる他のドキュメント（情報メモなど）を確認またはコピーしたあと、ダウンロードしたアーカイブをごみ箱に入れます。

注

一度に実行できるのは、アプリケーションの一意的インスタンスのみです。

Windowsの「スタート」メニューから、「設定」>「ネットワークとインターネット」>「ネットワークの詳細設定」（Windows 11以降）、「設定」>「ネットワークとインターネット」>「状態」>「アダプターの設定の変更」（Windows 10）、「コントロールパネル」>「ネットワークと共有センター」>「アダプターの設定の変更」（Windows 8以下）の順に選択し、アクティブなネットワークアダプター（Wi-FiまたはEthernet）が少なくとも1つあることと、IPアドレスが正しいことを確認してください。

Mac

Macは、macOS 10.13以降を搭載している必要があります。

NEXO NeMoをインストールするには、以下の手順を実行します。

1. <https://nexo-sa.com/nemo>にアクセスしてNEXO NeMoの最新版をダウンロードします。
2. ダウンロードしたアーカイブを解凍し、「NEXO_NeMo_Setup_x.x.dmg」をダブルクリックします。
3. 「NEXO NeMo.app」をドラッグして、アプリケーションディレクトリ（またはその他の任意のディレクトリ）にドロップします。
4. 移動した先の「NEXO NeMo.app」をダブルクリックして、アプリケーションを起動します。
5. アーカイブに含まれる他のドキュメント（情報メモなど）を確認またはコピーしたあと、DMGを取り出して、ダウンロードしたアーカイブをごみ箱に入れます。

「」>「システム環境設定」>「ネットワーク」の順に選択し、アクティブなネットワークサービス（Wi-FiまたはEthernet）が少なくとも1つあることと、IPアドレスが正しいことを確認してください。

WindowsおよびMac

静的アドレスではなくDHCPを使用することをおすすめします。

NeMoでは、デバイスの検出に使用するネットワークインターフェース（Windowsではアダプター、Macではサービスとも呼ばれます）を選択できます。インスペクター  の「Status」タブを開き、「Status」セクションで「Interfaces」の近くの  を押して、希望のネットワークインターフェースを選択します。このメニューを使用して、ネットワークインターフェースのIPマスクを確認することもできます。

iOS

iOS機器（iPhone、iPod Touch、またはiPad）はiOS 12以上を搭載し、NEXO NeMo Appをインストールしている必要があります。NEXO NeMo Appは、App Storeからダウンロードできます。

iOS機器のWi-Fiをオンにする必要があります。これを行なうには、「設定」を開きます。必要に応じて「機内モード」をオフにします。「Wi-Fi」を選択し、正しいネット

ワークを選択します。ネットワークがパスワードで保護されている場合は、パスワードを入力します。

静的IPを使用している場合、 をタップし、「静的」を選択して、iOS機器の「IPアドレス」（最後の数字以外はルーターアドレスに類似）、「サブネットマスク」（通常は255.255.255.0.0）、「ルーターアドレス」（通常ルーターの底面に印字されているか、ルーターのセットアップ時に手動で設定済み）を入力します。ここでも、安定性が高くなるDHCPを選択することをおすすめします。

NeMoとの接続が頻繁に切れる場合、「設定」>「Wi-Fi」を開き、接続するネットワークの横にある をタップして、「このネットワークを削除」をタップします。上記の手順を再度行ないます。DHCP（推奨）を使用している場合、「DHCPリースを更新」をタップすると改善される場合もあります。

古いiOS機器でWi-Fi信号レベルが極端に低い場合は、Wi-Fiに関するApple社のテクニカルノートを参照してください。

デスクトップ版NeMoとモバイル版NeMoはそれぞれ単独で稼働

モバイル端末用NeMoを使用するために、デスクトップコンピューター用NeMoを所有または起動する必要はありません（逆も同様です）。

オフラインモードはデスクトップ版NeMoにしかありませんが、それ以外ではどちらのアプリケーションも機能は同じです。

FOOTNOTES

1. 「Wi-Fi ルーターとWi-Fi アクセスポイントの推奨設定（<http://support.apple.com/kb/HT4199>）」、「iPhoneやiPadでWi-Fi ネットワークに接続できない場合（<http://support.apple.com/kb/TS3304>）」、「ワイヤレス通信の干渉によるWi-FiやBluetoothの問題を解決する（<http://support.apple.com/kb/HT1365>）」、「より高速で安全なWi-FiのWindows（<https://support.microsoft.com/en-us/windows/faster-and-more-secure-wi-fi-in-windows-26177a28-38ed-1a8e-7eca-66f24dc63f09>）」 

はじめに

ヒント: AVS-Monitorからの読み込み

AVS-Monitorのユーザーは、設定（機器およびグループのエイリアス）を読み込み/書き込みできます。これを行なうには、「[AVS-Monitor](#)」セクションに移動します。

新しいセッションの開始

デスクトップ版ユーザーのみ

1. NeMoのアイコンをダブルクリックしてNeMoを起動します。
2. スタート画面から「**New Session**」を選択するか、それ以外の画面から「*File*」>「*New*」を選択して、新しいセッションを作成します。新しいドキュメントウィンドウが表示されます。デフォルトではConfigモードになっています。「Demo」セッションを開く場合は、開いているウィンドウをすべて閉じてから「*File*」>「*Open Demo Session*」を選択します。
3. インспекター  の「Status」タブを開き、「Status」セクションを見つけます。
4. 「Online」スイッチ  を使用して、オンラインとオフラインを切り替えられます。
5. オフラインの場合は機器のプロトタイプ、グループ、ゾーンを作成し、それらの設定を編集できます（後述を参照）。
6. オンラインの場合は、対応するNEXO機器の検出が行なわれます。

注

NeMoから直接コントロールするのではなく、AVS-Serviceに接続する場合は、NeMo v2またはAVS-Monitorを使用します（NXES104カードを使用する場合など）。

モバイル版ユーザーのみ

1. AppアイコンをタップしてNeMoを起動します。

スタート画面から、ネットワークに接続するか（ConfigモードまたはLiveモードを使用、各モードについては後述）、「Demo」セッションを開くことができます。

注: Direct Controlの代わりにAVS-Serviceを使用して接続する場合は、NeMo v2またはAVS-Monitorを使用してください。

2. 開くセッションを選択します（「[セッション](#)」の項を参照）。NeMoを初めて起動した場合、デフォルトで空のセッションが作成されます。

3. 「**Config**」または「**Live**」をタップしてセッションを開き、対応機器の検出を開始するか、「**Demo**」をタップします。接続するまで少し時間がかかる場合があります。「**Cancel**」をタップするといつでも接続をキャンセルできます。
4. セッションへのアクセスが制限されていると（「[ユーザープロファイルの指定](#)」の項を参照）、パスワードを要求される場合があります。
5. 接続のステータスが表示されます。「Loading devices...」と表示されている間は、機器との接続を確立中です。完了するまでに時間がかかる場合があります。

エラーメッセージが表示される場合は、ネットワーク接続が確立できないことが考えられます。問題の解決に関しては、本マニュアルの「[使用前の準備](#)」の項を参照してください。

NeMoのモード

Configモード

設定モードです。すべての設定が可能です。

Liveモード

セーフモードです。このモードは「Preferences」メニューから設定できます。設定のオフまたはオンは確定後に有効になります。「[セキュリティ](#)」の項を参照してください。

Demoモード

このモードはネットワーク接続なしで使用でき、仮想のアンプでAppをテストできます。Appの使い方を学ぶ方法として最適です。

外観

セッションウィンドウ（デスクトップ版ユーザーのみ）

新しいセッションを開くと、以下のようなウィンドウが表示されます。



1つのセッションに対して開くことのできるウィンドウの数に制限はなく、セッションも必要なだけ開くことができます。各ウィンドウについて、セレクト（「[セレクト](#)」を参照）やインスペクター（「」を参照）を表示するかどうかや、エディターに表示するオブジェクトなどを選択できます。

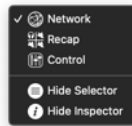
3つのタブがあります。

	Network（デフォルト）： すべてのNEXO機器およびセッションのグループ、ゾーン、カスタムコントロールスペースのグローバルビューが表示されます。
	Recap: 機器とチャンネルのグローバルビューが表示され、すばやくコントロールできます。
	Control: 選択したオブジェクトのパラメーターをコントロールします（プリセット、パラメーター、EQ など）。

ツールバーの表示/非表示

「View」>「Show Toolbar」または [Alt] + [Cmd] + [t] で、画面上部のツールバーを非表示にして、ウィンドウを最大化して作業できます。

タブの切り替え、
Selectorの表示/非表示、
およびインスペクターの
表示/非表示を切り替える
ボタン



インスペクターの非表示ボタン



通常のメインウィンドウ

セッションウィンドウ（モバイル版ユーザーのみ）

新しいセッションを開くと、以下のようなビューが表示されます。

ナビゲーションとツールバー。メインビュー上の多くの操作を実行できます。

「Selector」ボタン。操作
するオブジェクトを選
択します。

ConfigモードとLiveモー
ドの切り替えボタン
(長押し)。

ログの記録ボタン。

「Events」メニュー。ア
ラート、タスク、およ
びシステムステータス
を表示できます。



エディターと呼ばれる
メインビュー。モニタリ
ングやコントロールは
ここで行ないます。

タブバー。表示するエディターを切り替えます。

Appの主な機能ごとに、5つのタブがあります。

	Network（デフォルト）： すべてのNEXO機器およびセッションのグループ、ゾーン、カスタムコントロールスペースのグローバルビューが表示されます。
	Control: 選択したオブジェクトのパラメーターをコントロールします（プリセット、パラメーター、EQ など）。
	Setup: 選択した機器のプリセットを呼び出します。
	Scene: 選択した機器のシーンの保存および呼び出しを行ないます。
	Disconnect: セッションを閉じるのみのボタンです。

マッチング

デスクトップ版NeMoでは、オフライン作業を行なえます。オフラインの状態で作成した機器は**プロトタイプ**と呼ばれます。オンラインのときにネットワーク上で検出された機器はそのまま**機器**と呼ばれます。

モバイル版NeMoではオフライン作業はできませんが、**プロトタイプ**（開いたセッションにオンラインへの移行時に関連付けられるもの）と**機器**（ネットワーク上で実際に検出された機器）は区別されます。違いは、オンライン機器がプロトタイプに自動的にマッチングされ、カスタムマッチングは行なえないことです。

マッチングとは、オフラインのプロトタイプをオンライン機器に関連付ける操作です。

検出プロセス

機器の検出にはいくつかの段階があります。

1. NeMoによってネットワークが自動的かつ定期的にスキャンされます。
2. 新しい機器が検出されると、その機器は**初期化**されます。NeMoはその機器の基本情報を取得してコントロールを試みます。

注: 初期化の操作が失敗した場合、または時間がかかりすぎてキャンセルされた場合は、機器には「**Not responding**」と表示されます。応答しない機器は、以降の手順で更新できます。

3. 機器が初期化されると、**最初の同期**が行なわれます。NeMoはコントロールを実際に開始する前に、必要なすべてのパラメーター値を取得します。

注: 最初の同期操作に時間がかかりすぎる場合は、この操作をキャンセルできます。

マッチングプレビューが不完全な状態で表示されることを除いて、それ以降のコントロールには何の影響もありません。

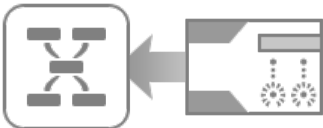
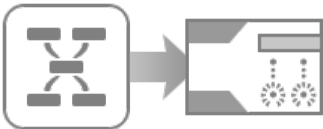
- 同時に、検出された機器をどのように**マッチング**するかを確認が行なわれます。モバイル版の場合: マッチングは自動で行なわれます。 プロトタイプがオンライン機器の値を取得します。
- 最初の同期とマッチング**が完了すると、機器を**コントロールできる状態**になります。

機器がNeMoに認識されていない場合、機器を**コントロールできません**。

ユーザーマッチング（デスクトップ版のみ）

マッチングプロセスを容易にするために、このプロセスはNeMoによって半自動化されています。NeMoは以前の関連付けを記憶していますが、毎回ユーザーへの確認を行います。機器が検出されると、場合に応じて以下の3つのうちいずれかが実行されます。

- 現在のセッションで機器のプロトタイプが検出されなかった場合、自動的に新しいプロトタイプを作成して、オンラインの機器に関連付けます。
- 検出されたすべての機器がすでにプロトタイプと関連付けられている場合、NeMoは、マッチングを再度確立する前に、ユーザーへの確認を行いません。その場合、以下から選択します。

	From device to prototype（デフォルト）： NeMoのプロトタイプの値はオンライン機器から取得されます。オフラインのときにプロトタイプに対して行なった設定は失われる可能性があります。オンライン機器が検出されていないプロトタイプは影響を受けません。
	From prototype to device: NeMoのプロトタイプの値がオンライン機器に送信されます。これによりトランザクションのサイクルが始まります。機器のフロントパネルで行なった設定は失われる可能性があります。
	Custom: Custom Matcherを表示します。

- 曖昧さがある場合、Custom Matcherが表示されます。

マッチング操作は部分的に取り消すことができます。

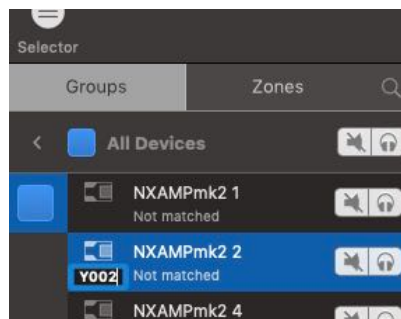
マッチング操作を確定する前に、マッチング方法が希望するものであることを確認してください。必要に応じて、NEXO機器をお使いの他のユーザーにもマッチング操作を行なうように通知してください。

Device IDを使用したマッチング（デスクトップ版のみ）

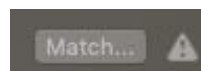
NeMoは機器のDevice IDを使用して、自動的に機器のマッチングを行いません。この機能を有効にするには、「Preferences」メニューの「General」ペインで「**Match with Device IDs**」をオンにします。Device IDは、NXAEDTもしくはNXDT104、またはDTD-Nを使用するNXAMPまたはNXAMPmk2のDante IDか、NXRM104またはNXAE104を使用するNXAMPmk2のDevice IDのいずれかです。NXAE104を使用するNXAMP（mk1）では、Device IDは使用できません。

オフライン機器のプロトタイプのDevice IDを編集するには、以下の手順を実行します。

1. オフライン時、セレクトター  を開いて「**Groups**」をクリックします。
2. 機器のプロトタイプの製品アイコンの下にあるテキストフィールドまたは空白スペースをクリックして、Device ID（「Y」のあとに0～9またはA～Eの3文字）を入力します。



3. 2つの機器のプロトタイプに同じDevice IDを入力しないようにしてください。重複したDevice IDが入力された場合、インスペクター  の「Status」タブにある「**Match...**」ボタンの横に警告アイコンが表示されます。詳細についてはこのアイコンをクリックします。



4. オンラインに移行します。製品とDevice IDが一致する機器が検出されると、自動的にマッチングされます。ただし、オフライン機器のプロトタイプをオンライン機器と実際にマッチングさせる前でも、マッチング方法は選択できます。

オンラインのNXAMP（mk1）およびDTD-Nでは、Dante IDは編集できません。これを行うには、Dante Controllerを使用してください。

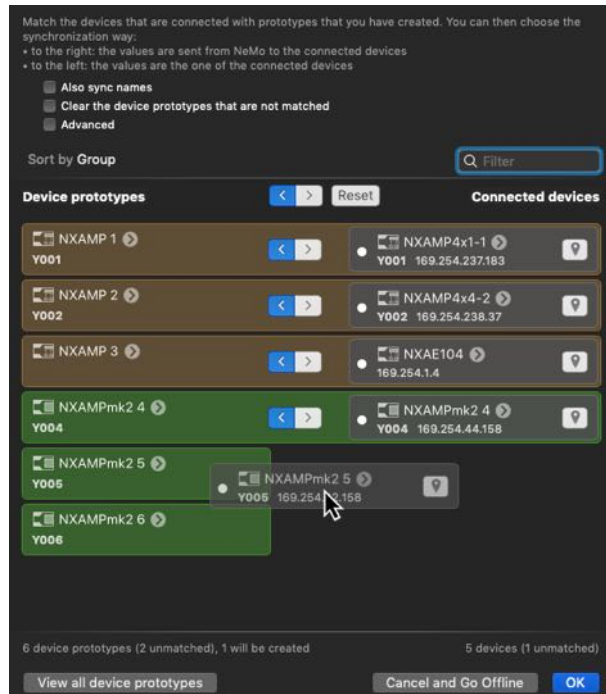
Custom Matcher（デスクトップ版のみ）

「**Custom...**」を選択した場合、またはマッチング段階で曖昧さがある場合、Custom Matcherを使用するとプロトタイプと機器を個々にマッチングでき、マッチング方法もそれぞれ選択できます。

カスタムマッチングを実行するには、以下の手順を実行します。

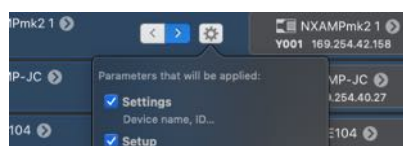
1. Custom Matcherを開きます。マッチング段階が終了したら、インスペクター  の「Status」タブを開き、「Session」セクションの「**Match...**」を押してマッチングを実行します。

2. 左側には作成したプロトタイプ、右側には検出された機器が表示されます。Dante ID、名前、アドレスを指定するか、ロケートボタン  を押して機器を識別します。
3. 以下の図のように、プロトタイプのセルを機器のセルに、または機器のセルをプロトタイプのセルにドラッグアンドドロップします。



4. 「<|>」を押して同期方法を選択します。「OK」を押して確定するとマッチングが適用されます。
5. マッチングを元に戻すには、プロトタイプのセルまたは機器のセルをマッチング先のセルの外または別のセルにドラッグアンドドロップします。
6. 名前を同期するかを確認します（プロトタイプにはオンライン機器の名前が使用されます）。
7. 一致しなかったプロトタイプ（不要になった以前のネットワークのプロトタイプなど）を消去するかを確認します。
8. 「OK」を押し、確認してマッチングを有効にします。

デフォルトでは、NeMoから機器への同期を行なうとき、すべての編集可能なパラメーター（プリセット、入力パッチ、EQ、ボリュームなど）がオンライン機器に送信されます。「Advanced」のチェックボックスをオンにすると、適用されるパラメーターをより細かく選択できるようになります。



機器の検索

マッチングを行なわない場合でも、オンラインのNEXO機器を識別する方法があります。

NXAMPの識別はLOAD4_00からのみ行なえます。

NEXO機器を識別するには、以下の手順を実行します。

1. セレクターを開きます（「[セレクター](#)」の項を参照）。
2. モバイル版ユーザーのみ: いずれかのセレクターページ（グループ、ゾーン、機器、またはチャンネル）で  を押します。

デスクトップ版ユーザーのみ: セレクターの下部で   ボタンを押します。ボタンの表示が  に変わります。

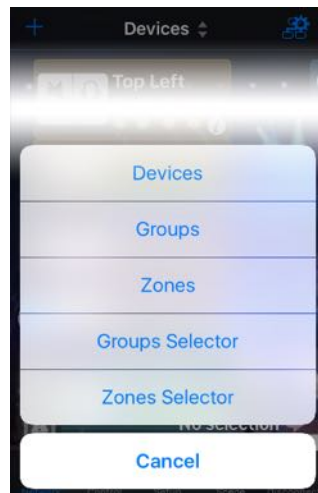
対応機器の場合、ミュートボタンがロケートボタン  に置き換わります。

3. ロケートボタンを押します。機器のフロントパネルのLEDまたは画面（製品によって異なります）が2秒間点滅します。

「NETWORK」 タブ

スマートフォン版ユーザーのみ

「Network」タブはネットワークマップまたはセレクト（「[セレクト](#)」の項を参照）で構成されています。ナビゲーションバーの中央にあるボタンでビューを切り替えることができます。



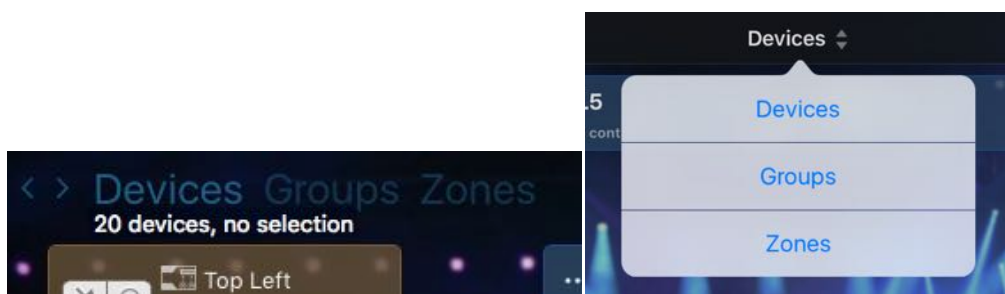
 をタップするとツールバーにアクセスできます。

タブレット版およびデスクトップ版ユーザーのみ

 をタップするとツールバーのいくつかのオプションにアクセスできます。

機器、グループ、ゾーンのマップ

マップ上に、機器、グループ、またはゾーンを表示できます。



機器

1台の機器。オフラインで作成された機器はプロトタイプと呼ばれます。機器には、NeMoからコントロールできるもの（NXAMPなど）と、検出のみ行なえコントロールはできないもの（Dante対応ミキシングデスクなど）があります。

グループ

機器/プロトタイプのグループ（例: 機器A + 機器B）。グループを使用すると、複数の

機器の表示や編集を一度に行なえます。また、機器を簡単に識別できるようになります（同じラックの機器、ステージの同じ側の機器など）。グループには名前と色があります。

ゾーン

チャンネル/チャンネルプロトタイプのグループ（例: 機器Aのチャンネル1 + 機器Bのチャンネル3）。多くの場合、同じ種類のスピーカーに対応するチャンネルをグループ化する目的で使用されます。ゾーンには名前、色、番号があります。

機器のマップには、接続されている機器およびオフラインのプロトタイプが長方形のセルで表示され、それぞれに作成したグループとゾーンからなるグループとゾーンのマップが表示されます（グループまたはゾーンの作成方法については後述を参照）。

選択

機器のコントロール（「Control」タブによるコントロールなど）を行なうには、機器またはグループの選択が必要です。選択されたセルは色が明るくなります。

モバイル版NeMo

- セルを押すとセルが選択されます。
- セルをもう一度押すと選択が解除されます。
- すべてのセルを選択するには、ツールバーの  をタップします。
- すべてのセルを選択解除するには、ツールバーの  をタップします。
- 選択したセルを確認するには、右下角の  をタップします。

デスクトップ版NeMo

- セルをクリックすると、選択できます。
- [Shift] を押しながら別のセルをクリックすると、間にあるすべてのセルを選択できます。
- [Cmd] を押しながら別のセルをクリックすると、それまでの選択を維持したまま別のセルを選択できます。
- セルの外をクリックしてドラッグすると、囲んだ範囲内のセルを選択できます。
- セルの外をクリックすると、すべてのセルの選択を解除できます。
- [Cmd] + [A] を押すと、すべてのセルを選択できます。

グループの一部の機器のみを選択した場合、グループのセルは部分的に選択されます。その場合、斜めのストライプが付きます。

オブジェクトの選択または選択解除は、セレクターから行なうこともできます（後述の「セレクター」の項を参照）。

コントロールできないセルも含め、すべてのセルを選択できます。

セルの配置

セルは自由にアレンジできます。この操作を行なうには、編集モード  を選択し、1つまたは複数のセルを押したままドラッグします。

ユーザーを支援するために、セルのドラッグやサイズ変更を行なうときは、アライメントガイドとスナップを利用できます（カスタムコントロールコンポーネントについても同様、以降を参照）。

2つのセルを一定より近づけると、マグネット機能によってラックのようなスタックを構成できます。現実と同じような機器のアレンジを再現できます。

2つのセルの1辺がぴったり合うと、完全に結合されます。この場合、1つを動かすと、もう一方も追従します。

スナップとスタックは、構成メニュー  から有効化または無効化できます。

モバイル版NeMo

セルの結合を解除するには、両方のセルに指を載せて、引き離すように動かします。

デスクトップ版NeMo

セルの結合を解除するには、[Cmd] を押しながらセルをドラッグします。カーソルがハサミの形になります。

結合されていないセルを同時に動かすには、それらを選択する必要があります。選択したセルのうちの1つを動かすと、他に選択している残りのセルも同様に移動します。

複数のセルを選択したあとに、選択していない別のセルをドラッグした場合、後者のみが移動します。

セルのスタックを無効化、またはセルのオーバーラップを許可するには、設定メニュー  を開きます。

マップにセルを自動配置するには、ツールバーの  をタップしてから、「Tiles」をタップします。

ヒント: グリッドに合わせる

セルをグリッドに合わせることができます。これを行なうには、ツールバーの  をタップして、「Align on grid」をオンにします。グリッドのサイズ（ポイント）も選択できます。

ヒント: オンラインの機器またはオフラインのプロトタイプを表示

NeMoがオンラインの場合、接続された機器に関連付けられていないプロトタイプを非表示にできます。これを行なうには、ツールバーの  をタップして、「Hide not connected devices」をオンにします。

機器とチャンネルのグループ化

グループ化は、「Network」タブでツールバー、またはセレクトターの左下（デスクトップ）の「+」をタップして表示できるグルーピングメーカーで行ないます。



グループの作成

グループを作成するには、以下の手順を実行します。

1. グルーピングメーカー（前述を参照）を開きます。モバイル版のみ: グループのマップまたは機器のマップから、またはグループモードの場合はセレクトターから開きます（「[セレクトター](#)」の項を参照）。
2. デスクトップ版のみ: 左上角にある分割されたコントロールで「**Groups**」を選択します。
3. 「**New Group**」を選択します。
4. 名前を押すと名前を編集できます。
5. 色のアイコンを押すと色を編集できます。
6. 機器のリストで機器を選択します。オプションを使用してリストを並べ替えることもできます。

ゾーンの作成

ゾーンを作成するには、以下の手順を実行します。

1. グルーピングメーカー（前述を参照）を開きます。モバイル版のみ: ゾーンのマップ

から、またはゾーンモードの場合はセレクトから開きます（「セレクト」の項を参照）。

2. デスクトップ版のみ: 左上角にある分割されたコントロールで「Zones」を選択します。
3. 「New Zone」を選択します。ゾーンの番号は、他のゾーンの中でそのゾーンがどこに配置されているかによって決まります。ゾーンを配置する方法については、「[セレクト](#)」の項を参照してください。
4. 名前を押すと名前を編集できます。
5. 色のアイコンを押すと色を編集できます。
6. チャンネルのリストでチャンネルを選択します。オプションを使用してリストを並べ替えることもできます。

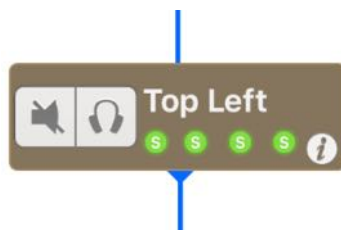
グループまたはゾーンの編集

グループまたはゾーンおよびその内容を編集するには、以下の手順を実行します。

1. グループングメーカーを開きます。
2. 左側のリストでグループまたはゾーンを選択します。モバイル版では、このリストを表示するには  を押します。
3. 選択したグループまたはゾーンに属するオブジェクトが強調表示されます。
4. グループまたはゾーンのオブジェクトの追加/削除を行なうには、機器およびチャンネルのリストで対象のオブジェクトを選択するか、選択を解除します。
5. 必要に応じて  を押します。
6. 名前または色を押すと編集できます。
7. グループまたはゾーンを削除するには  を押します。
8. 完了したら「Done」を押します。

機器のセル

セルにはおもて面と裏面があります（モバイル版のみ）。「i」を押すと、裏面を表示できます。おもて面に戻るには、「Done」を押します。



おもて面のペイン

- ミュートボタン。機器の出力音を消します（「オーバーミュート」機能はすべての

チャンネルをミュートします)。機器のミュートが実際にオンになると、ボタンが青色になります。

- ソロボタン。ソロ以外のすべての対応機器をミュートします。ソロがオンになると、ボタンが青色になります。
- 機器のエイリアスまたはDante ID（該当する場合）が表示されたラベル。押すと、表示を切り替えることができます。
- 各チャンネルのステータスを示す4つのLED。

LEDの意味を以下に示します。

	チャンネルがミュートされています。すべてのLEDがオンになっている場合は、モジュールがオーバーミュートされています。
	チャンネルがプロテクションモードになっています。4つのLEDがオンになっている場合は、機器がプロテクションモードになっています。
	チャンネルがピークリミッターモードになっています。
	チャンネルに電流が流れています。
	デフォルトの状態です。
	複数の値（たとえば、アンプAのチャンネル1とアンプBのチャンネル1のLEDで、1つめがミュートされていて、2つめがミュートされていない場合。センスやピークも同様）がある場合、LEDの周りがオレンジ色の枠で囲まれます。

備考:

コントロールできない機器の場合、または機器が応答していない場合、LEDおよびミュート/ソロボタンはオンになりません。機器がスタンバイモードであるか応答していない場合、ボタンをタップして起動できます。

裏面のペイン（モバイル版のみ）

- 機器のエイリアス。デフォルトでは製品のタイプとMACアドレスの末尾が表示されます。フィールドをタップして編集し、終了したら「**Done**」をタップします。製品によって、エイリアスはNeMoの内部である場合（NXAE104を取り付けたNXAMPmk1など）と、オンライン機器への同期である場合（任意のカード搭載のNXAMPmk2など）があります。
- アンプのMACアドレス（機器のネットワークカードに記載されている場合があります）。
- アンプのLOAD（ファームウェアおよびセットアップライブラリのバージョン）。

- 現在のセットアップ。番号または名前で示されます（ライブラリがロードされている場合）。
- 拡張カード（NXDT104など）のアイコン。該当する場合、Device IDが表示されます。

NeMoでコントロールできる機器以外のセルは、エイリアスのみが表示されます。

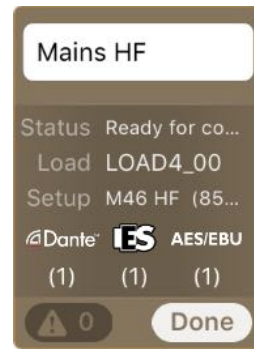
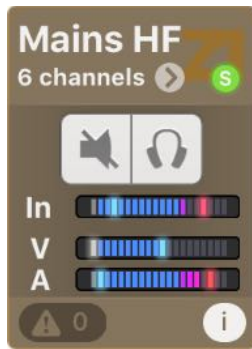
グループセル

グループセルには複数のペインとボタンがあります。



In	グループの機器の入力レベルをモニタリングできます。グループ内の機器の最大入力レベルが表示されます。
Out	グループのNXAMPのプロセッシングチャンネルの出力電流と電圧、またはDTDの場合の出力レベルと圧縮レベルをモニタリングできます。この場合も、グループ内の機器の最大レベルが表示されます。（VUメーター）
i	グループの詳細（セットアップ、ロード、拡張カードの種類）の表示、および名前の変更を行なえます（右クリックして（「Rename」）を選択します）。
	このボタンを押すと、グループの「Recap」（要約）ビューが表示されます（「 クイックミュート/ソロビュー（iPadのみ） 」の項を参照）。
	このボタンを押すと、「Events」メニューが表示され、そのグループに関するアラートのみがフィルターされて表示されます（「 アラート、タスク、およびシステムステータス 」の項を参照）。

ゾーンセル

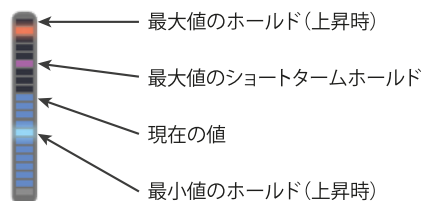


ゾーンセルには複数のペインとボタンがあります。

「In」と「Out」	このゾーンに属するチャンネルの入出力レベルをモニタリングできます。出力電流および電圧も表示されます。表示されるレベルは最大値です。このペインからゾーンのチャンネルをミュート/ソロにすることもできます。
i	ゾーンの詳細（セットアップ、ロード、拡張カードの種類）の表示、および名前の変更を行なえます（右クリックして（「Rename」）を選択します）
➤	このボタンを押すと、ゾーンの「Recap」（要約）ビューが表示されます（「 クイックミュート/ソロビュー (iPadのみ) 」の項を参照）。
⚠	このボタンを押すと、「Events」メニューが表示され、そのゾーンに関するアラートのみがフィルターされて表示されます（「 アラート、タスク、およびシステムステータス 」の項を参照）。

VUメーター

VUメーターには以下の値が表示されます。



ホールド値をリセットするには、いずれかのVUメーター上をタップします。

重要: レイテンシー

ネットワーク上で、またはNEXO機器の処理時間や応答時間にレイテンシーが発生することにより、コマンドがすぐに適用されない場合があります。

編集可能なパラメーターの表示値は、常に期待値です。

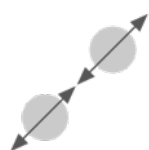
トランザクションが進行している間（パラメーターの期待値が機器に送信および処理されている間）、アクティビティインジケーターがメインビューの左下角に表示されます。

トランザクションが終了すると、インジケーターが非表示になります。トランザクションに失敗すると、「Events」メニューにアラートが表示され（「アラート、タスク、およびシステムステータス」の項を参照）、表示値が実測値にリセットされます。

ズームイン/ズームアウト

注

本稿執筆時点では、この機能はまだ提供されていません。



対応するタッチスクリーンまたはトラックパッド上で2本の指を近づけたり（ズームアウト）、広げたり（ズームイン）することで、メインビューの表示倍率を変更できます。表示倍率をリセットするには、セル以外の場所をダブルタップします。

表示倍率の変更はツールバーでも行なえます。各マップの表示倍率は独立しており、自動的に保存されます。

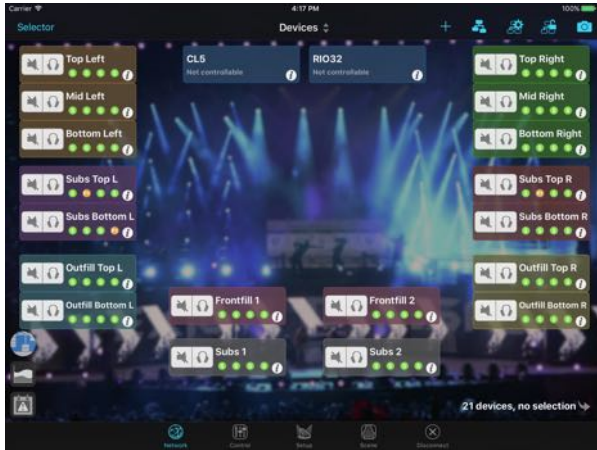
スクロール

モバイル版の場合、メインビューをスクロールして見えていないセルを表示するには、画面上（セル以外の場所）で指をドラッグします。編集モード（をタップ）で背景画像が大きすぎる場合、2本の指を使用してスクロールできます。

背景画像

背景画像を追加できます。たとえば、端末内蔵のカメラを使用してステージやNXAMPラックの写真を撮ってNeMoに背景画像として読み込み、実際の配置に近づけてセルを配置できます。

背景画像はすべてのマップで同じになります（機器やグループなど）。



背景画像の追加

背景画像を追加するには、以下の手順を実行します。

1. ツールバーの  を押して、画像編集モードにします。セルはグレー表示されます。編集モードでも（指2本で）スクロールしたりズームインしたりできます。
2. 「+」を押して画像を読み込みます。
3. モバイル版: 画像のサイズを変更するには、 を押してドラッグします。

デスクトップ版: 画像のサイズを変更するには、画像周辺のアンカーの1つを押してドラッグします。[Alt] を押しながら実行すると中央揃えが維持され、[Shift] を押しながら実行すると画像の比率が維持されます。

4. 画像を移動させるには、画像を押してドラッグします。
5. モバイル版: 画像を削除するには、 をタップします。

デスクトップ版: バックスペースを押すと、選択した画像が削除されます。

6. 画像をダブルクリックすると、明るさと不鮮明度を編集するパネルが表示されます。
7. 「Done」（モバイル）または  （デスクトップ）をタップして、画像編集モードを終了します。セルの表示が元に戻り、画像が背景として表示されます。
8. 他の画像を追加するには、上記の操作を繰り返します。

背景画像の編集

背景画像を編集するには、ツールバーの  を押して画像編集モードにし、必要に応じて [前述の手順](#) の3～7を実行します。

複数の画像を配置した場合、ドラッグしている画像が自動的に最前面になります。画像を前面にしたい場合は、その画像を少しドラッグするか、右クリックで表示されるメニューを使用します（デスクトップ版のみ）。

終了したら「Done」（モバイル）または  （デスクトップ）をタップします。

クイックミュート/ソロビュー (iPadのみ)

チャンネルおよび機器をミュートまたはソロにするには複数の方法があります。

- ネットワークマップでセルの「Mute/Solo」コントロールを使用する
- セレクターを使用する（後述を参照）
- 現在選択されている機器またはチャンネルの「Control」タブを使用する
- クイックミュート/ソロビューを使用する

クイックミュート/ソロビューにアクセスするには、グループまたはゾーンのマップで ➤ をタップします。以下のモーダルビューが表示されます。



ここで、たとえば個々のチャンネル、グループ全体の指定のチャンネル、機器をミュート/ソロできます。「Done」をタップすると、クイックミュート/ソロビューが閉じます。

「VU-Meters」をタップすると、VUメーターの表示または非表示を切り替えることができます。

ソロは「インプレース」または「排他」で実行できます。「ヒント: 排他ソロ」の項を参照してください。

セレクター

このメニューは、トップバーの左側にある ☰ ボタンを押すことで表示できます。

モバイル版の場合: このメニューは「Network」タブからのみ表示できます。

セレクターにはグループとゾーンという2つのモードがあります。この2つのモードを切り替えるには、分割されたコントロールの「Groups|Zones」を使用します。

作成したすべてのグループまたはゾーンと特定のグループ「All devices」、または特定のゾーン「All channels」がリストに表示されます。このグループおよびゾーンは名前を変更したり削除したりできません。

グループまたはゾーンごとに、「mute|solo」ボタンがあります。これは、そのグループのすべての機器、またはそのゾーンのすべてのチャンネルに適用されます。➤を押すと、グループまたはゾーンの詳細が表示されます。リストの対応機器またはチャンネルにはそれぞれ「mute|solo」ボタンと、チャンネルステータスLED（モバイル）またはステータステキスト（デスクトップ）があります（「[機器のセル](#)」の項を参照）。

グループ、ゾーン、機器、またはチャンネルを選択するには、それぞれの行を押します。グループを選択するとそのグループのすべての機器が選択され、ゾーンを選択するとそのグループのすべてのチャンネルが選択されます。

選択した行は青色になります。

オフラインの行は赤になります。

デバイスの追加（デスクトップ版のみ）

新しい機器のプロトタイプをセッションに追加するには、以下の手順を実行します。

1. セレクター下部の「+」ボタンを押します。「Add device prototypes...」を選択します。
2. 表示されるモーダルシートで、作成する機器の製品、名前、番号、および必要な場合は作成したデバイスを追加するグループを選択します。確定します。
3. オンラインの場合はCustom Matcherが表示されるので、作成した機器のプロトタイプをオンラインの機器に関連付けます。

複数のグループまたはゾーンの編集

モバイル版ユーザーのみ

グループとゾーンを編集するには、以下の手順を実行します。

1. セレクターの「Groups」または「Zones」メニューで  を押します。
2. 名前をタップすると、名前を変更できます。キーボードが表示されます。名前を編集して確定します。
3. 行の  の部分をタップしてドラッグすると、順序を変更できます。
4.  をタップしてから「Delete」をタップすると、削除できます。編集ビューを表示していないときに、行を左にスワイプして削除することもできます。「Delete」ボタンが表示されます。
5.  をタップしてグループまたはゾーンを作成したり、グループまたはゾーンの内容を編集したりできます（「[機器とチャンネルのグループ化](#)」の項を参照）
6. 終了したら「Done」を押します。

デスクトップ版ユーザーのみ

グループとゾーンを編集するには、以下の手順を実行します。

1. 編集するには、グループまたはゾーンの行の名前を押します。
2. [Cmd] または [Shift] を押したままクリックすると複数のグループまたはゾーンを選択できます。
3. 1つまたは複数のグループまたはゾーンを選択してキーボードのバックスペースキーを押すと削除できます。
4. 1つまたは複数のグループまたはゾーンを選択してドラッグすると順序を変更できます。

複数のグループまたはゾーンを移動するには、（[Shift] または [Cmd] を使用して）選択範囲の最後の1つを選択する際にマウスボタンを押したままにして、ドラッグします。

5. セレクター下部の「+」ボタンを押すと、グループおよびゾーンの内容を追加したり編集したりできます（「機器とチャンネルのグループ化」の項を参照）。
6. グループまたはゾーンのリストを右クリックして並べ替えオプションを選択すると、自動的に並べ替えることができます。新しい順序は保存されます。

備考1:

「All devices」グループおよび「All channels」ゾーンを削除したり並べ替えたりすることはできません。

備考2:

ゾーンの並べ替えはゾーンの番号を変更する唯一の方法です。

備考3:

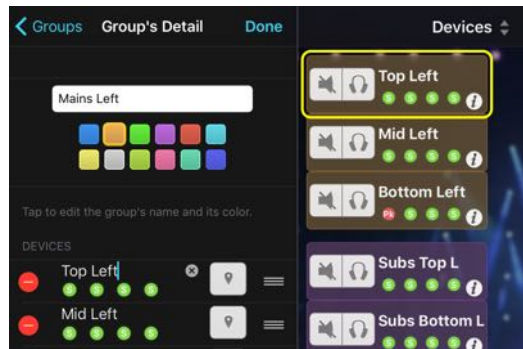
上記の操作は元に戻すことができます（「Edit」 > 「Undo」、[Cmd] + [z]、または ）。

1つのグループまたはゾーンの編集

モバイル版ユーザーのみ

グループまたはゾーンおよびその内容を編集するには、以下の手順を実行します。

1. セレクターの「Groups」または「Zones」メニューで、を押して選択したグループまたはゾーンの内容を表示します。
2. 「Edit」をタップします。編集ビューが表示されます。



3. リストの一番上にあるフィールドをタップすると、名前を変更できます。
4. 色のリストから希望の色を選択して色を変更できます。
5. グループの機器の名前をタップすると、その機器名を変更できます。画面サイズに余裕がある場合、編集したデバイスは、ネットワークマップで枠を囲まれて表示されます。チャンネル名は編集できません。
6. 行の ≡ の部分をタップしてドラッグすると、グループの機器の順序を変更できます。ゾーンのチャンネルを並べ替えることはできません。
7.  をタップしてから **「Delete」** をタップすると、グループまたはゾーンから機器またはチャンネルを削除できます。編集ビューを表示していないときに、行を左にスワイプして削除することもできます。 **「Delete」** ボタンが表示されます。

オフラインのプロトタイプは、「All Devices」グループから削除することで完全に削除できます。

8. グループまたはゾーンの内容を編集するには、 をタップしてグルーピングメーカーを表示します（「[機器とチャンネルのグループ化](#)」の項を参照）。
9. 完了したら **「Done」** をタップします。
10.  をタップして「Groups」メニューに戻ります。

デスクトップ版ユーザーのみ

グループまたはゾーンおよびその内容を編集するには、以下の手順を実行します。

1. セレクターの「Groups」または「Zones」メニューで、 を押して選択したグループまたはゾーンの内容を表示します。
2. リストの一番上にあるテキストフィールドを編集することで、グループまたはゾーンの名前を変更できます。
3. 色のアイコンを押してリストから希望の色を選択すると、色を変更できます。
4. グループの機器の名前を押すと、その機器名を変更できます。チャンネル名は編集できません。
5. 機器とチャンネルは、ドラッグして並べ替えることができます。また、右クリックして並べ替えオプションを選択することもできます。

6. キーボードのバックスペースキーを押すと機器またはチャンネルを削除できます。また、右クリックして「Remove...」で削除することもできます。

オフラインのプロトタイプは、「All Devices」グループから削除することで完全に削除できます。

7. セレクター下部の「+」を押して「Edit the group...」または「Edit the zone...」を選択すると、グループまたはゾーンの内容を編集できます。グルーピングメーカーが表示されます（「[機器とチャンネルのグループ化](#)」の項を参照）。

備考:

「All devices」グループから機器を削除できるのは、この機器が接続されていないか、NeMoがオフラインのときのみです。「All channels」ゾーンからチャンネルを削除することはできません。デフォルトでは、このグループおよびゾーンはDante ID（該当する場合）およびエイリアス（それ以外の場合）でソートされます。

接続されていない機器

グループおよびゾーンはセッションの間は保持されます。そのため、現在のセッションで接続されていない機器がグループまたはゾーンに含まれる可能性があります（これらの機器は機器なしのプロトタイプといいます）。

オフライン機器が含まれたグループやゾーンには、のアイコンが表示されます。

モバイル版のみ

接続機器なしのプロトタイプを表示するには、機器のリストのフッター（警告アイコンが表示されている場所）をタップします。表示されても、グレー表示されて選択できません。フッターを再度タップすると非表示になります。

「Preferences」を開き、接続されていない機器の表示/非表示を選択することもできます。

デスクトップ版のみ

「View」>「Hide Not Connected Device」のチェックボックスをオン/オフにすることで、機器なしのプロトタイプの表示/非表示を選択できます。

検索

セレクターの一番上の検索アイコン  を押して表示されるテキストフィールドを使用すると、機器、チャンネル、グループまたはゾーンに素早くアクセスできます。

具体的には、以下のキーワードの1つまたは複数を入力できます。

- 機器、グループ、またはゾーンの名前（「zone 1」、「グループまたはゾーンの名前」など）
- プリセットの名前または番号（「ID24」、「setup 46」など）
- Device ID（「Y003」など）

- 製品ファミリー（「nxampmk2」など）
- 拡張カードのタイプ（「nxdt104」など）
- IPアドレスまたはMACアドレス

機器ではなくチャンネルで検索する場合は、冒頭に「ch」と入力して、必要に応じてそのあとに1つまたは複数のチャンネル番号、そのあとに残りの検索ワードを入力します（「ch 1 2 nxamp P12」など）。

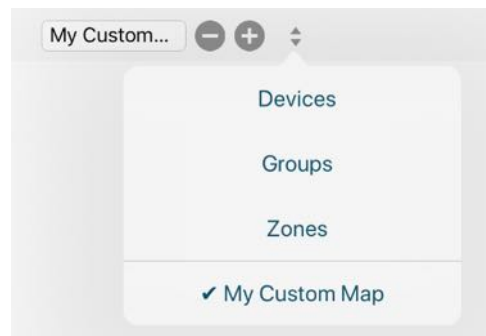
カスタムネットワークマップ

カスタムネットワークマップは、コンポーネント（ボリュームスライダー、ミュートボタン、ディレイフィールドなど）を追加、構成、配置、および使用して、**制御対象オブジェクト**と呼ばれるデバイス、チャンネル、グループ、またはゾーンの監視や制御を行なうスペースです。カスタムネットワークマップには、必要に応じていくつでもコンポーネントを追加でき、各コンポーネントに異なるパラメーターと制御対象オブジェクトを関連付けられます。カスタムネットワークマップは「.nemo」セッションに保存され、ライブラリにも保存できます。セッションには複数のカスタムネットワークマップを作成できます。

カスタムネットワークマップの編成

カスタムマップの作成、名前の変更および削除を行なうには、以下の手順を実行します（モバイル版のみ）。

1. 「Network」タブ  を開きます。
2. 右上のツールバーで  を押します。ネットワークマップ編集モードに入ります。



3. カスタムネットワークマップを追加するには、 を押します。
4. カスタムネットワークマップの名前を変更するには、 を押して対象となるカスタムネットワークマップを選択します。それからマップの名前のテキストフィールドを編集します。
5. カスタムネットワークマップを削除するには、 を押して対象となるカスタムネットワークマップを選択します。それから  を押して、確認します。
6. 終わったあとは、 を再度押して編集モードを終了します。

カスタムマップの作成、名前の変更、削除、および並べ替えを行なうには、以下の手順を実行します（デスクトップ版のみ）。

1. 「Network」タブ  を開きます。
2. 右上のツールバーで  を押します。ネットワークマップ編集モードに入ります。

< > Devices Groups Zones My Custom Map  

3. カスタムネットワークマップを追加するには、 を押します。
4. カスタムネットワークマップの名前を変更するには、対象となるマップの名前をダブルクリックします。
5. カスタムネットワークマップを削除するには、対象となるマップの横にある  を押します。
6. カスタムネットワークマップを並べ替えるには、カスタムネットワークマップのリスト内で、カスタムネットワークマップの名前をドラッグアンドドロップで移動させます。
7. 終わったあとは、 を再度押して編集モードを終了します。

備考

機器、グループおよびゾーンのマップには名前の変更、削除、並べ替えのいずれの操作も行なえません。

備考

前述の手順およびカスタムネットワークマップに関するすべての動作は、元に戻すこともやり直すこともできます。

カスタムネットワークマップの表示

カスタムネットワークマップを表示するには、デスクトップ版の場合、ビューの左上にあるネットワークマップのリストから名前を選択します。モバイル版の場合、 を押して、対象となるカスタムネットワークマップを選択します。

カスタムネットワークマップの編集

必要に応じてカスタムネットワークマップを作成（「[\[\]\(#organizing-custom-network-maps“ ”\)](#)」の項を参照）したあと、これを選択（「[カスタムネットワークマップの表示](#)」の項を参照）してから  を押すと、ネットワークマップ編集モードに移動します。

コンポーネントを追加するには、 を押します。デスクトップ版の場合、コンポーネントを追加する場所にマウスポインターを置いた状態でスペースバーを押すことでも追加できます。表示されたメニューで、追加するコンポーネントのタイプを選択します。

コンポーネントを押して選択します。選択するとコンポーネントの移動、サイズの変更

および削除（デスクトップ: バックスペースを押す、モバイル: を押す）を実行できます。複数のコンポーネントを選択（「[選択](#)」の項を参照）して同時に編集もできます。

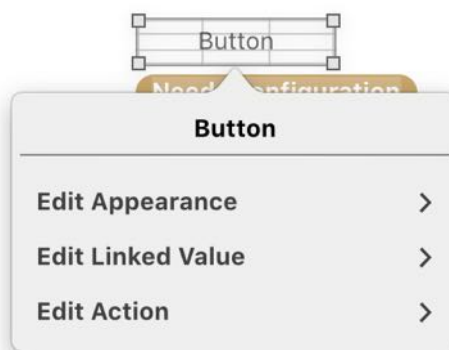
画面サイズが大きい場合、より手早くコンポーネントを作成するには、編集モードでセレクトター  から制御対象オブジェクト（デバイス、チャンネル、グループまたはゾーン）をカスタムネットワークマップの目的の場所にドラッグします。

制御対象オブジェクトとコンポーネントのパラメーターまたは動作に関する詳細を表示するには、マップ内の任意の場所で [Opt] / [Alt] を押す（デスクトップ）か、長押しします（モバイル）。

コンポーネントの編集

コンポーネントを編集するには、コンポーネントをダブルクリックして、コンポーネントの外観（色、フォントサイズ、ボタンのタイプなど）を編集するには「**Edit Appearance**」を、コンポーネントの同期（同期先の制御対象オブジェクトとパラメーター）を編集するには「**Edit Linked Value**」を、ボタンの動作（トグル、シーン呼び出しなど）を編集するには「**Edit Action**」を選択します。デスクトップの場合、インスペクター  の「Selection」タブに移動することもできます。

デフォルトでは基本的なオプションのみ表示されます。「Preferences」の「General」ペインに移動し、「**Show advanced options**」をオンにしてアドバンスドモードを有効にします（デスクトップの場合、このオプションはインスペクターのコンテキストメニューでも有効にできます）。



コンポーネントの編集

コンテナ

コンテナは、他のコンポーネントを収納できるコンポーネントです（他のコンテナは除く）。コンテナにも制御対象オブジェクトを選択できます。選択すると、制御対象オブジェクトが指定されていないコンテナ内のコンポーネントはすべて、コンテナの制御対象オブジェクトが関連付けられます。

コンテナの制御対象オブジェクトを変更すると、そのようなコンポーネントの制御対象オブジェクトも自動的に変更されます。しかし、そのようなコンポーネントの制御対象オブジェクトを変更しても、コンテナの制御対象オブジェクトは変更されず、単なる別個の設定になります。

コンテナ内でコンポーネントのドラッグや編集を行なうには、まずコンテナをダブルクリックして、その中身にフォーカスを移す必要があります（コンテナより外側のマップが暗くなります）。そうしなければ、コンテナそのものがドラッグまたは編集されてしまいます。コンテナの中身からフォーカスを外すには、コンテナの外側をクリックします。

コンテナに新しいコンポーネントを追加する場合は、コンテナにフォーカスを移してから、「[カスタムネットワークマップの編集](#)」の手順に従いコンポーネントを追加します。

コンテナに既存のコンポーネントを追加するには、コンテナの内側にコンポーネントをドラッグします。

コンテナからコンポーネントを削除するには、コンテナの外側にコンポーネントをドラッグします。

同期されたコンポーネント

ラベル、VUメーター、LED、スライダーなどのコンポーネントはリンク値を持ちます。つまりそれぞれの値（ラベルの場合はテキスト、LEDの場合は色、スライダーの場合は位置など）は、制御対象オブジェクトのパラメーターにリンクされています。

リンク値を編集（「[コンポーネントの編集](#)」の項を参照）するときは、「Object」（グループ、ゾーン、機器またはチャンネル）および「Parameter」を選択します。メニューには該当するパラメーターのみ表示されます。

空のグループまたはゾーンを選択する場合（たとえばオフライン時に、これから接続する機器を予測するときなど）、パラメーターを選択する前に1つ以上の製品ファミリーを選択する必要があります。

選択したグループまたはゾーンに異なる製品ファミリー（NXAMPとNXAMPmk2など）の機器が含まれている場合、NeMoは異なるファミリー間のパラメーターの値を可能な限り一致させますが、一部の値、特に限界値において制限を受ける場合があります（たとえばNXAMPmk2ではゲインの最大値は+18.0 dBですが、NXAMPでは+6.0 dBが上限です）。

コンポーネントの機器がまだ接続されていない場合、「Object」メニューに「Not specified」と設定することで、空の制御対象オブジェクトをそのままにしておくこともできます。しかしこの場合、「Parameter」メニューで製品ファミリーを指定する必要があります。

動作付きのコンポーネント（ボタン）

ボタンを追加すると、まずそのボタンの「Appearance」（「[コンポーネントの編集](#)」の項を参照）を編集して、ボタンのタイプを選択する必要があります。

- 一部のボタンには動作があらかじめ設定されています（ミュート、ソロ、ミュート/ソロ、ロケート、ロックおよびスタンバイ）。これらのボタンについては、単に（「Action」セクションで）制御対象オブジェクトだけを設定する必要があります。

- 次に、プラスとマイナスのボタンについては、（「Action」セクションで）制御対象オブジェクト、パラメーター、およびステップを設定する必要があります。
- 最後に、カスタムスタイルボタンについては、以下で詳述するように、動作、制御対象オブジェクト、パラメーター、値、必要に応じて代替値を設定する必要があります。ボタンのタイトルはカスタムですが、「Text depends on action」のチェックボックスをオンにすることで、自動にもできます（たとえば、動作が値2と3によるセットアップの呼び出しである場合、自動タイトルは実際のデバイスの値に応じて、「セットアップを呼び出し2」または「セットアップを呼び出し3」になります）。

制御対象オブジェクトおよびパラメーターは、他の[同期されたコンポーネント](#)と同様に、「Action」セクションで編集できます。このセクションでは、カスタムスタイルボタンの動作と値を編集することも必要です。カスタムスタイルボタンの動作には、以下があります。

トグル

ブール値を切り替えます（ミュートのオン/オフ、EQのオン/オフなど）。パラメーターを選択する必要があります。

増加、減少

指定したステップでパラメーターの値を増減させます（ディレイに10 msなど）。パラメーターとステップを選択する必要があります。

値を設定

パラメーターに指定値（あるボタンには-12 dB、もう1つには-6 dBなど）を設定するか、指定値と代替値の切り替え（-1 dBと+2 dBのゲインを切り替えるなど）を設定します。パラメーター、値、および必要に応じて代替値を指定する必要があります。

セットアップを呼び出し

指定の番号でNEXOセットアップを呼び出します。必要に応じて代替のセットアップ番号も設定できます（セットアップ番号60と61の切り替えなど）。

シーンを呼び出し

指定した番号でシーンを呼び出します。必要に応じて代替のシーン番号も設定できます（シーン番号2と5の切り替えなど）。

ロケート

機器、チャンネルまたはグループ/ゾーン全体を識別します（オプションなし）。

ロック

機器またはグループのロックメニューを表示します（オプションなし）。

同一のコンポーネント

すでに設定されている別のコンポーネント（たとえば、テキストフィールド、スライダー、ゾーンボリュームのラベルなど）と同じ制御対象オブジェクトおよびパラメー

ターを持つコンポーネントを設定するには、以下の手順を実行します。

1. 「[コンポーネントの編集](#)」の手順に従い、アドバンスドモードを有効にします（有効にされていない場合）。
2. 設定するコンポーネントを選択し、「*Linked Value*」で「*Same as*」の横にあるボタンを押してから、すでに設定されているコンポーネントを選択します。
3. コンポーネントの外側を押すと、コンポーネント間のリンクはリセットされます。

2つ以上のコンポーネントがリンクされている場合、あるコンポーネントで制御対象オブジェクトまたはそのパラメーターを変更すると、他のコンポーネントすべてに変更が反映されます。

コンポーネントのコピー、貼り付け、および複製

コンポーネントのコピー、貼り付け、および複製により、コンポーネントをより迅速に作成および設定できます。

たとえば、すべての入力レベルにVUメーターを作成するには、以下の手順を実行します。

1. 1つめのVUメーターを作成し、配置と設定（制御対象オブジェクトとパラメーターの選択、「[コンポーネントの編集](#)」の項を参照）を行ないます。
2. これをコピーして貼り付けます。2つめのVUメーターを配置します。これを2回押して、「**Increment param ID**」を選択します。
3. 再度貼り付けます。3つめのVUメーターは最初の2つのVUメーターの位置に応じて配置され、以降同様です。毎回、「**Increment param ID**」を必要に応じた回数だけ押します。

モバイル版ユーザーのみ

コンポーネントのコピーまたは複製を行なうには、コンポーネントをダブルクリックして、コンテキストメニューから「**Copy**」または「**Duplicate**」を選択します。

コンポーネントを貼り付けるには、セルの外側をダブルクリックして、コンテキストメニューから「**Paste**」を選択します。

デスクトップ版ユーザーのみ

コンポーネントをコピーするには、[Cmd] + [C] を押すか、「Edit」 > 「Copy」を選択します。

コンポーネントを貼り付けるには、[Cmd] + [V] を押すか、「Edit」 > 「Paste」を選択します。

コンポーネントを複製するには、[Opt] / [Alt] を押しながら複製するコンポーネントをクリックし、希望する位置にマウスでドラッグします。

カスタムネットワークマップの保存と共有

カスタムネットワークマップは、カスタムネットワークマップライブラリに保存することにより、他のプロジェクトで再利用したり、他のユーザーと共有したりできます。ライブラリはNeMoのアプリケーションデータに保存されます（「.nemo」セッションには保存されません）。

ライブラリにカスタムネットワークマップを追加

ライブラリにカスタムネットワークマップを追加するには、以下の手順を実行します（モバイル版ユーザーのみ）。

1.  を押し、右上のツールバーの  を押します。
2. 「Add to Library」を選択します。

ライブラリにカスタムネットワークマップを追加するには、以下の手順を実行します（デスクトップ版ユーザーのみ）。

1. 右クリックして「Add to Library」を選択します。
2. または右上のツールバーのライブラリボタン  を押して「Library」ウィンドウを開きます（または「Window」>「Library」>「Custom Maps Library」を選択するか、[Cmd] + [Shift] + [E] を押します）。次にカスタムネットワークマップの名前をドラッグして「Library」ウィンドウにドロップします。

ライブラリからカスタムネットワークマップを使用

前もってライブラリに保存したカスタムネットワークマップを現在開いているセッションに追加するには、以下の手順を実行します。

モバイル版ユーザーのみ:

1.  を押し、右上のツールバーの  を押します。
2. 「Import from Library」を選択します。
3. ライブラリで読み込むマップを選択し、 を押して、「Add to Session」を選択します。

デスクトップ版ユーザーのみ:

1. 右上のツールバーのライブラリボタン  を押して「Library」ウィンドウを開きます（または「Window」>「Library」>「Custom Maps Library」を選択するか、[Cmd] + [Shift] + [E] を押します）。
2. ライブラリからカスタムネットワークマップのサムネイルをドラッグして、「Network」タブのビューにドロップします。

備考

セッションにマップが追加されるとコンポーネント、特にその制御対象オブジェクト（機器、チャンネル、グループまたはゾーン）の編集が必要となる場合があります。

ネットワークマップライブラリの書き出しと読み込み

ライブラリを書き出すには、以下の手順を実行します（モバイル版ユーザーのみ）。

1.  を押し、右上のツールバーの  を押します。
2. 「Import from Library」を選択します。
3. 書き出しボタン  を押します。
4. ドキュメントは、モバイル端末のNeMoのサンドボックスのファイルから入手できます。

ライブラリを書き出すには、以下の手順を実行します（デスクトップ版ユーザーのみ）。

1. 右上のツールバーのライブラリボタン  を押して「Library」ウィンドウを開きます（または「Window」>「Library」>「Custom Maps Library」を選択するか、[Cmd] + [Shift] + [E] を押します）。
2. 「Export...」を押して、「.nxmaps」の書き出し先を選択します。

備考

ライブラリに含まれるすべてのマップが、書き出し先の「.nxmaps」ファイルに収められます。

別のライブラリのマップを読み込むには、以下の手順を実行します（モバイル版のみ）。

1. NeMoのファイルサンドボックスに読み込む「.nxmaps」ファイルを追加します（手順はモバイル端末のシステムによって異なります）。
2. 「Network」タブで  を押し、右上のツールバーの  を押します。
3. 「Import from Library」を選択します。
4. 新しく表示されたライブラリで「+」を押します。
5. 読み込む「.nxmaps」ファイルを選択します。読み込んだカスタムネットワークマップは、ライブラリに既存のものと置き換えることも、ライブラリに追加することもできます。

別のライブラリのマップを読み込むには、以下の手順を実行します（デスクトップ版のみ）。

1. 右上のツールバーのライブラリボタン  を押して「Library」ウィンドウを開きます（または「Window」>「Library」>「Custom Maps Library」を選択するか、[Cmd] + [Shift] + [E] を押します）。
2. 「Import...」を押して、読み込む「.nxmaps」ファイルを選択します。読み込んだカスタムネットワークマップは、ライブラリに既存のものと置き換えることも、ラ

ライブラリに追加することもできます。

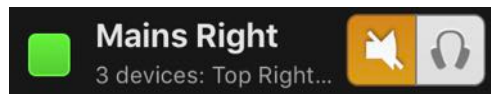
ライブラリからカスタムネットワークマップを削除

ライブラリからカスタムネットワークマップを削除するには、そのサムネイルを選択して  を押します。

重要: 規則

ボタン、スライダー、またはアレイのセルがオレンジ色の場合、複数の値が含まれていることを意味します。以下に例を示します。

例1:



この場合、「Mains Right」グループには、ミュートされている機器とミュートされていない機器があります。

例2:



このスライダーが、選択した2台のNXAMP両方のチャンネル1のゲインをコントロールする場合、緑色は2つのチャンネル1の値が異なることを意味します（たとえば、一方が-2 dBでもう一方が+3.5 dB）。スライダーにはそれぞれの異なる値のマークが表示され、つまみは平均を示します。

VUメーターの場合、表示された値は、複数の値の**最大値**を示します。

重要: 選択した機器

以降のタブでは、セレクトアまたは「Network」タブで選択した機器またはチャンネルをコントロールします。設定を行なう前に、コントロールしたい機器を正しく選択していることを確認してください。

ビューのタイトルは、選択されている内容の識別に役立ちます（グループ1: デバイスA、デバイスBなど）。

選択した機器がコントロール不可の場合、または応答していない場合、その機器にはコントロールが反映されません。

どのオブジェクトが選択されているかを最も簡単に確認するには、セレクトアにアクセスします（「[セレクトア](#)」の項を参照）。

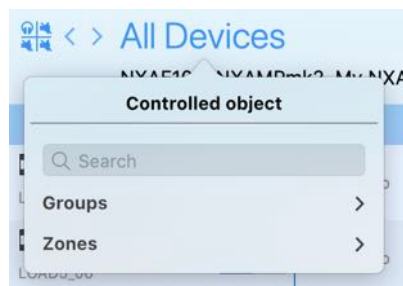
「RECAP」タブ（デスクトップ版のみ）

「Recap」タブ  を開きます。メインビューには、選択した機器（行）とその機器のチャンネル（列）のリストが表示されます。

機器とチャンネルは、それらが属するグループまたはゾーンに応じて色分けされます。

「Recap」（要約）ビューは、主にシステムの点検（チャンネルのミュート/ソロを利用）、プリセットと設定の確認、およびレベルのモニタリングを行なうために設計されています。そのため、グループ、ゾーン、機器名などの編集には使用できません。これらの編集については、「セレクトター」および「Control」タブの項を参照してください。

「Recap」タブで確認できるのは、セレクトター（「[セレクトター](#)」を参照）で選択したグループとゾーンです。または、エディターのタイトルを押して表示されたポップオーバーで、セッションのグループとゾーンを検索またはナビゲートします。検索フィールドの詳細については、「[検索](#)」を参照してください。



機器に関する情報の表示

機器名のすぐ下にある詳細ラベルをクリックすると、ファームウェアバージョン、IP、Dante ID、機器のMACアドレス（該当する場合）が順次表示されます。

 をクリックし、「Device」セクションで各オプションを選択または選択解除します。

Groups

機器が属するグループを表示します。

Inputs

機器の入力レベルを表示します。

Preprocessing patch

プリプロセッシングチャンネルのInpatchを表示します（DTD）。

Preprocessing input

プリプロセッシングチャンネルのEQを表示します（DTD）。

チャンネルに関する情報の表示



をクリックし、「Processing Channel」セクションで各オプションを選択または選択解除します。

Zones

機器が属するゾーンを表示します。

State, mute/solo and patch

チャンネルのLED、ミュート/ソロボタン（該当する場合）、Inpatchを表示します。

State, mute/solo and setup

チャンネルのLED、ミュート/ソロボタン（該当する場合）、プリセットを表示します。

Outputs

出力のVUメーターを表示します（NXAMPの電圧と電流、DTDの出力レベルと圧縮レベル）。

Preset

チャンネルのプリセットを表示します。

Settings

チャンネルの設定を表示します（ボリューム、ディレイ、ゲイン、ヘッドルーム、アレイEQ）。

EQ

EQのサムネイルを表示します。

Compressor

コンプレッサーのサムネイルを表示します。

System Headroom

温度、変位、圧縮など、ヘッドルームに関連するメーターが表示されます。

ヒント: 排他ソロ

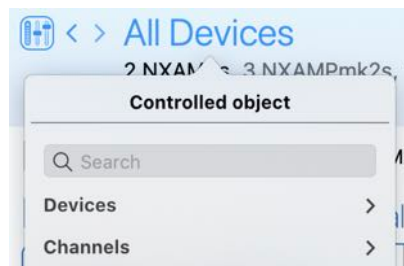
ソロが排他の場合、一度にソロにできるチャンネルは1つのみです。それ以外の場合、ソロは累積されます（ソロインプレース）。つまり、チャンネルまたは機器のソロを選択すると、ソロオブジェクトのリストにそれらが追加されます。

ソロを排他的に実行するかどうかは、「[環境設定](#)」で選択できます。

「CONTROL」タブ

「Control」タブを開きます。メインビューは、選択した機器またはチャンネルのパラメーターをモニタリングしたりコントロールしたりする場所です（「重要: 選択した機器」の項を参照）。

「Control」タブでコントロールできるのは、セクター（「セクター」を参照）または「Network」タブで選択したオブジェクトです。または、「Control」タブのタイトルを押して表示されたポップオーバーで、セッションのオブジェクトを検索またはナビゲートします。検索フィールドの詳細については、「検索」を参照してください。



入力およびプリプロセッシングチャンネルが左側、プロセッシングチャンネルが右側に表示されます。

スマートフォンのポートレート表示の場合: 入力およびプリプロセッシングチャンネルが上側、プロセッシングチャンネルが下側に表示されます。

各チャンネルには、1つまたは2つのVUメーター、NXAMPの電流（A）または電圧（V）（NXAMPmk2ではカスタマイズ可能）、DTDの出力レベルと圧縮が関連付けられます。

機器（またはグループ）あるいはチャンネル（またはゾーン）が選択されているかどうかで表示が異なります。これらの2つのモードは、グループモードとゾーンモードと呼ばれます。

パラメーターの設定

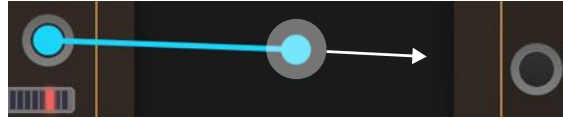
スマートフォン版ユーザーのみ

グループモードの場合、チャンネルのパラメーター（Gain、Volume、Delayなど）は、メインビューからは設定できません。チャンネルビューにアクセスするには、チャンネル（複数のチャンネルを同時にコントロールする場合は複数のチャンネル）をタップします。新しく表示されるビューのタイトルで、選択したチャンネルがわかります。戻るボタンをタップすると、メインビューに戻ります。

変更を行なう前に、コントロールするチャンネルが正しく選択されていることを確認してください。

パッチ

入力をプロセッシングチャンネルにリンクさせるには、一方から他方にドラッグします。



リンクを解除するには、入力からプロセッシングチャンネルまたはその反対に再度ドラッグします。



注

ゾーンモードでは、画面が小さすぎるとリンクが表示されません。

パッチがない場合は、「in」または「No in」アイコンが表示されます。パッチがある場合は、パッチが適用される入力の文字がついたアイコンが表示されます（「A|B」など）。パッチを編集するには、このアイコンを押し、表示されるリストから希望する入力を選択します。

Gain、Array EQ、Headroom、Volume

スライダーのつまみを押して、左右に動かします。スライダーの値がその横に表示されます。

スライダーには高速ジェスチャーに対する誤操作防止機能があります。この動作を有効または無効にするには、「Preferences」>「General」を開いて、「Speed limit on sliders and fields」のチェックボックスをオンまたはオフにします。タッチスクリーンでは、不要なスライド操作の発生を避けるために、この誤操作防止機能が推奨されています。

スライダーの分解能は、スライダーと指/マウスカースルの間の距離に応じて変わります。スライダーから遠いほど分解能が細かくなります。

つまみの左右をクリックすると、パラメーターの値が1ステップ分減少または増加します。つまみをダブルクリックすると、値がリセットされます。

備考: スライダーの値を変更したときに別の値も変わる場合、それら2つのチャンネルは現在のセットアップでブリッジ接続されているか、両方のチャンネルが選択されています。

Delay、Delay unit

ディレイ値が表示されているフィールドを押します。値を編集して確定します。

◀▶ ボタンを押し、左右にドラッグしてディレイ値を増減させることもできます。

スライダーと同様、フィールドにも高速ジェスチャーに対する誤操作防止機能が適用されます。

指/マウスカースルが離れているほど分解能が細かくなります。

ディレイはミリ秒、メートル、またはフィート単位で表示できます。単位が表示されているボタンを連続でタップすると、「ms」、「m」、「ft」、「ms」の順に切り替わります。

NeMoで単位を変更するとNXAMPの画面上の単位も変わります。また、NXAMPで単位を変更するとNeMoの単位も変わります。そのため、「Control」タブにどのNXAMPが表示されるかによって、単位が同じにならない場合があります。この動作を回避し、アプリケーション全体で同じ単位を使用するには（NXAMP画面上の単位と異なってしまう場合があります）、「Preferences」>「General」を開き、「Preferred Delay Unit」の横にある「Use this unit instead of the one of the online devices」のチェックボックスをオンにします。

オーバーミュート/ソロ（グループモードのみ）

「[機器のセル](#)」の項を参照してください。このボタンはナビゲーションバーの右側にあります。選択した機器のすべてのチャンネルをミュートまたはソロにできます。チャンネルのミュートステータスは保持されます。選択した機器のすべてのチャンネルをミュートする場合は、グローバルミュート（オーバーミュート）ボタンを押します。

Mute / Solo

このボタンをタップすると、チャンネルがミュートまたはソロになります。オーバーミュート/ソロボタンとの相関性はありません（オーバーミュートが選択されている場合でも選択または選択解除できます）。

Stand-by

 をタップすると、選択した機器がシャットダウンされます。確認メッセージが表示されます。

選択した機器のいずれかがスタンバイモードの場合、他のすべてのパラメーターが設定不可になります。

Cabinet

モバイル版のみ

読み取り専用の値です。この値を設定するには「[Setup](#)」タブを開きます。

デスクトップ版のみ

選択したチャンネルのプリセットを編集するには、キャビネット名を押します。または、グループモードで一番上のバーのプリセット名を押すと、選択した機器のすべてのチャンネルのプリセットを編集できます。

複数の値

複数の機器を選択している場合のチャンネルは、選択した機器すべてのチャンネルを表わします。そのため、複数の値が存在する可能性があります。たとえば、1台の選択したNXAMPのチャンネル2がミュートされていて、もう1台の選択したNXAMPのチャンネル2

がミュートされていない場合などです。複数の値は以下のとおり表示されます。

Patch:

リンクがオレンジ色になります。オレンジ色のリンクに沿って指/マウスでドラッグすると、リンクが削除されます。

Gain、Array EQ、Headroom、Volume:

スライダーがオレンジ色になります。表示されている値は平均値です。スライダーを任意の値まで動かすと、Absoluteモードがオンの場合はすべての値がスライダーの値に設定され、Relativeモードがオンの場合は個々の値が同じ量だけ増減されます。

Delay:

「Mult.」と表示されます。新しい値を設定すると、すべての値がそのテキストフィールドの値に設定されます。複数の値がある場合に指/マウスでドラッグしたときの動作は、Gain、Array EQなどと同じになります。

Mute-Solo、Overmute-solo、Stand-by:

各ボタンがオレンジ色になります。オレンジ色のボタンをタップすると、ボタンが選択されます。たとえば、がになります。「Stand-by」の値が複数ある場合、他の設定にはアクセスできません。

VU-meter:

VUメーターには最大値が表示されますが、色は通常と同じです。

Cabinet:

値「Multiple」が表示されます。キャビネットまたはそのファミリーが共通の場合、それらが個々に表示されます。

個別の値の表示

スライダー、テキストフィールド、VUメーター、プリセットまたはパッチラベルに複数の値が存在するとき、それらの値を個別に表示するには、ポップオーバーが表示されるまで長押しします。そうすることで個々の値の編集や、特定のチャンネルの値をすべて揃えることができます。



注

本稿執筆時点では、この機能はNeMo v3にまだ実装されていません。

複数チャンネルのパラメーターの設定

グループモードまたはゾーンモードでは、複数のチャンネルの特定のパラメーターの値（Gain、Delayなど）を同時に変更できます。

小型画面のみ

複数のチャンネルのパラメーターの値を同時に変更するには、前述（「パラメーターの設定」の項）のとおりに、それらのチャンネルを選択します。変更は絶対的または相対的に行なえます。

大型画面のみ

チャンネルのチェックボックスをタップすると、同時に編集できます。

チェックボックスの1つを長押しすると、そのチェックボックスの状態が他のすべてのチェックボックスに適用されます。

1つまたは複数のチェックボックスの上でスライド操作を行なうと、1回のジェスチャーで複数のチェックボックスの選択または選択解除を行なえます。



絶対的または相対的

「Abs.|Rel.」ボタンを使用して、変更を絶対的（「Abs.」）にするか、相対的（「Rel.」）にするかを選択できます。

- 「Abs.」を選択した場合、選択したチャンネルのパラメーター（Volumeなど）を変更すると、選択した他のチャンネルのパラメーターもその値に設定されます。たとえば、選択したチャンネルのボリュームスライダーを-6に動かすと、選択したすべてのチャンネルのボリュームが-6 dBに設定されます。
- 「Rel.」を選択した場合、選択したチャンネルのパラメーター（Volumeなど）を変更すると、選択した他のチャンネルのパラメーターも同じ量だけ増減します。たとえば、ゲインがそれぞれ-1 dBと-6 dBのチャンネル1および2を選択して、チャンネル1のゲインを+2 dBに動かした場合、チャンネル2のゲインが-3 dB（3 dB増加）に設定されます。スライダーを動かしている間は、追加された値が表示されます。

「Strict Relative」モード

デフォルトでは、Relativeモードで値を編集するとき、スライダーが範囲外の位置までドラッグされる可能性もあります（たとえば、チャンネル1のボリュームが-6 dBで、チャンネル2が-4 dBのとき、スライダーを0 dBまで上げると、チャンネル2のボリュームは0 dBの上限を超えてしまいます。この場合は0 dBに設定されます）。つまり、相対値の間隔は維持されない場合があります。

相対値の間隔を強制的に維持するには（先の例では、チャンネル1の上限を-2 dBにして、相対値の間隔を4 dBに維持するには）、「Preferences」の「General」セクションに移動して、「**Strict Relative Mode**」をオンにします。

値の加算または減算

テキストフィールドに「++」または「--」に続けて数値を入力することで、値の加算または減算を行なえます。たとえばゲインのフィールドに「++2」と入力すると、選択したチャンネルそれぞれの開始値が異なる場合でも、ゲインのそれぞれの現在値に2 dBが加算されます。

NXAMPやNXAMPmk2のボリュームなど一部のパラメーターでは、増減の比率が一定ではないことに注意してください。「++2」と入力した場合、ボリュームは近似値に向けて増加します。たとえばボリュームが-12 dBである場合、ボリュームは-10 dBの近似値である-9 dBに設定されます。

単位の値ではなくステップを使用して増減させるには、たとえば「++3i」のように、加算または減算する値のあとに「i」と入力します。たとえばゲインが0 dBであった場合は、1.5 dBに設定されます（ステップは0.5 dBごと）。たとえばボリュームが-12 dBであった場合は、-4 dBに設定されます（不規則なステップ: -12 > -9 > -6 > -4）。

セットアップピッカー（デスクトップ版のみ）

機器のプリセットラベル  またはチャンネルのキャビネットラベルを押すと、セットアップピッカーがポップオーバーで表示されます。

セットアップピッカーの上部には、選択した機器またはチャンネルの現在のプリセットの名前と画像が表示されます。グループモードでは、選択した機器のチャンネルの数だけ名前と画像が表示されます（例: NXAMPでは4つ）。

下部にはセットアップライブラリが表示されます。NXAMPでは、「NEXO」と「Custom」という2つのライブラリを使用できます。選択したNXAMPの4チャンネルのセットアップを呼び出すには、「**NEXO**」を選択します。キャビネット、クロスオーバー、ブリッジモードを選択して、選択したチャンネルを呼び出すには、「**Custom**」を選択します。DTDで使用できるのは「Custom」のみです。

プリセットを呼び出すには、以下の手順を実行します。

1. セットアップピッカーの上部で、プリセットを編集するオブジェクトの名前または画像を押します。複数のチャンネルを選択するには、[Shift] または [Cmd] を使用します。
2. 「**NEXO**」または「**Custom**」を押して、選択したライブラリを表示します。
3. NEXOセットアップまたはカスタムシリーズ、キャビネット、モード、クロスオーバーのリストが表示されるので、必要な項目を選択します。検索フィールドを使用すると、目的のセットアップを番号やシリーズ/キャビネット名ですばやく見つけることができます。
4. 必要に応じてブリッジのチェックボックスを選択または選択解除します（「**Custom**」を選択した場合のみ）。
5. 「Recall」を押して確定します。

注

NeMoには、サポートされる製品のファームウェアバージョンに対応するライブラリが用意されています。NEXOから新しいファームウェアが公開されると、NeMoは自動的にリモートサーバーからファームウェアをダウンロードします（同意した場合）。この動作は「Preferences」>「Loads」で変更できます。ただし、プリセットライブラリがない場合、NeMoはオンライン機器からの読み込みを試みます。この動作には時間がかかる場合があります。一方、セットアップピッカーは使用できず、代わりにプログレスバーが表示されます。詳細については「[プリセットライブラリ](#)」の項を参照してください。

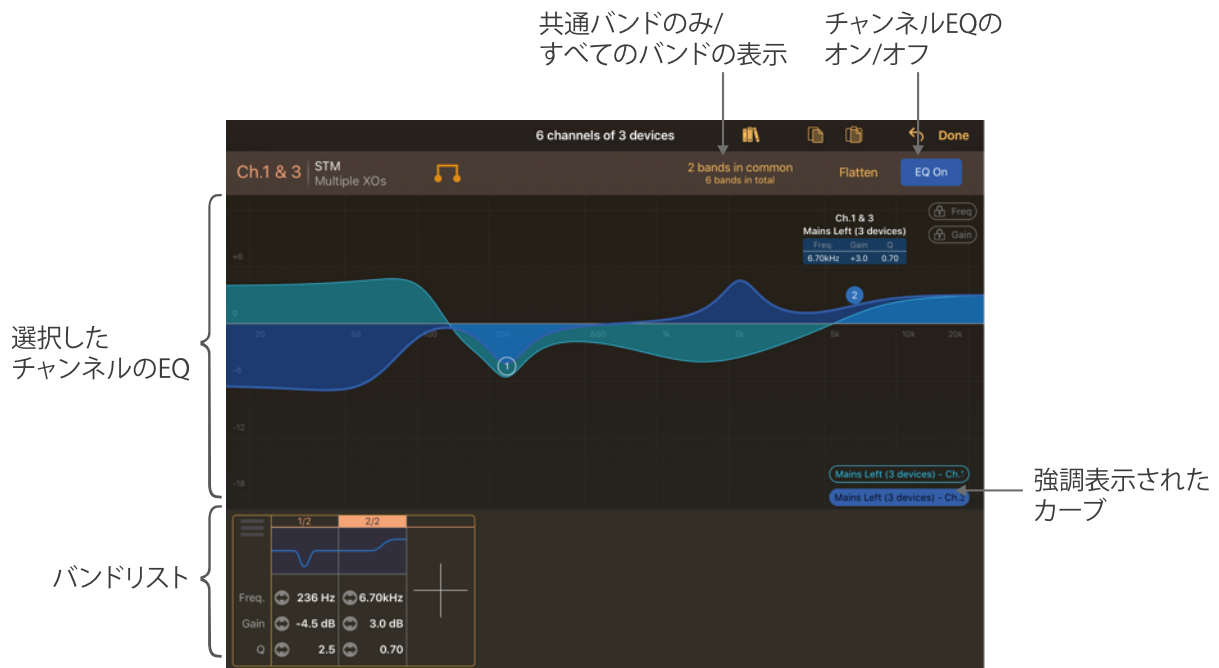
EQの編集

警告

EQ編集機能は、NXAMPにLOAD4_00以上がインストールされている場合にのみ使用できます。DTDでは、プリプロセッシングチャンネル上にユーザーEQもあります。

EQはチャンネルストリップからプレビューできます。

虫めがねアイコンをタップすると、EQ編集ビューが開きます。



EQの表示

選択したチャンネルのEQは、画面の中央部分に表示されます。EQが異なる複数の機器または複数のチャンネルを選択している場合、それぞれのカーブが表示されます。右下角のボタンを使用して、個別のEQを強調表示できます。

スマートフォンのみ

画面の幅が小さいため、EQ編集ビューは2つまたは3つに分割されます。タップしたまま

左右にスライドして、目的の周波数帯域を表示させます。スクロール中は、EQ全体のレビューが表示されます。

タブレットのみ

☰を下にスライドすると、下部のパート（バンド詳細）を非表示にして、EQのフルスクリーン編集を行なえます。

デスクトップ版のみ

右上のを押すと、EQ編集ビューが切り離され、独立したウィンドウとして表示されます。こうすることで、サイズを変更して大きく表示することも、複数のEQウィンドウを開いた状態で維持することもできます。

バンドの追加

バンドを追加するには、以下の手順を実行します。

1. 選択されているチャンネルが正しいことを確認します。
2. EQビューの任意の場所をダブルクリックします。バンドのタイプは、以下のとおり自動的に選択されます。

ダブルタップ位置 の周波数	ダブルタップ位置 のゲイン	バンドのタイプ
100 Hz未満	-2 dB超、2 dB未満	FLATの場合はハイパス、それ以外はローシェルフ
100 Hz未満	-	ローシェルフ
5 kHz超	-2 dB超、2 dB未満	FLATの場合はローパス、それ以外はハイシェルフ
5 kHz超	-	ハイシェルフ
-	-	ピーキング

3. バンドリスト内の「+」をタップして追加することもできます。その場合のタイプはピーキングになります。

バンドの編集

バンドを編集するには、以下の手順を実行します。

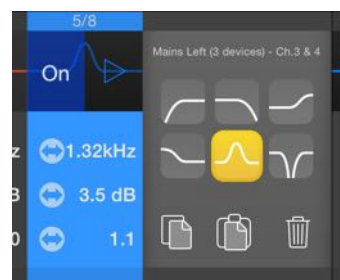
1. 1つまたは複数のチャンネルを選択します。異なるEQに共通のバンドは編集可能です（丸で囲まれた数字が表示されます）。
2. 選択したチャンネルに共通でないバンドを編集するには、「xxx bands in common」を押します。ボタンが「yyy bands in total」に変わります（デスク

トップ:  または )。



選択は同じだが、すべてのバンドが表示されている

- 編集するバンドの丸数字をドラッグして、周波数およびゲインを変更します。バンドは周波数で常にソートされるため、バンドの番号は編集に変わることがあります。
- 丸数字を押してバンドを選択します（丸が白抜きになります）。指でピンチするかマウスホイールを使用してQまたはスロープを変更します。
- 周波数、ゲインおよびQを編集するとき、「 freq」と「 gain」のいずれかまたは両方を押すと、周波数とゲインのいずれかまたは両方をロックできます。
- バンドリスト内の周波数、ゲイン、Q、またはスロープのテキストフィールド上を指またはマウスでドラッグして、それらを編集することもできます（分解能はテキストフィールドからの距離に応じて細くなります）。
- バンドのタイプを変更するには、バンドの丸数字を指で長押しするか右クリックしてコンテキストメニューを表示します。このメニューは、バンドリストのプレビューアイコンをタップしてから小さい三角形をタップしても表示できます。



バンドの削除

バンドを削除するには、コンテキストメニューを表示し（前項の手順7を参照）、ごみ箱アイコンまたは「Remove the band」を押します。

すべてのバンドを一度に削除するには、（Flatten）をタップします。

バンドのコピー/貼り付け

1つのバンドをコピー/貼り付けするには、以下の手順を実行します。

- 1つまたは複数のチャンネルを選択します。共通のバンドまたはすべてのバンドのいずれかを表示します。
- コピーするバンドのコンテキストメニューを表示します（前項の手順7を参照）。
（コピー）を押します。
- 他の機器またはチャンネルを選択します。
- 貼り付け先のバンド（または必要に応じて新規バンドを作成）のコンテキストメニューを表示します。（貼り付け）を押します。
- また、ツールバー（画面右上）のをタップすると、コピーしたバンドと同じものを追加することができます。デスクトップのみ: グラフを右クリックして「*Paste on the displayed EQ(s)*」を選択できます。

EQ全体をコピー/貼り付けするには、以下の手順を実行します。

- グラフの右下角にある対応するボタンを押して、コピーするEQを強調表示します。
- ツールバーの（コピー）を押し、リストの中からコピーするEQを選択します。
デスクトップのみ: 右クリックして「*Copy the displayed EQ(s)*」を選択することもできます。
- 他の機器またはチャンネルを選択します。
- ツールバーの（貼り付け）を押して、表示されているEQをコピーしたEQに置き換えるか、表示されているEQにコピーしたバンドを追加するかを選択します。デスクトップのみ: 右クリックして「*Paste on the displayed EQ(s).*」を選択することもできます。

バンドのオン/オフの設定

表示されているEQのオン/オフを設定するには、右上角のボタンを押します。EQのカーブはオフのときは赤色、オンのときは青色になります。

1つのバンドのオン/オフを設定するには、コンテキストメニューを表示（「[バンドの編集](#)」の項の手順7を参照）して、「ON/OFF」ボタンを押します。バンドリストで、バンドのプレビューアイコンの「ON/OFF」ボタンを押すこともできます。バンドのプレビューアイコンはオフのときは赤色、オンのときは青色になります（丸数字を選択しているときは、丸数字も同様）。

チャンネルEQのオン/オフステータスとバンドのオン/オフステータスに相関性はありません。そのため、オンになっているチャンネルEQにオフのEQバンドが含まれ、オフになっているチャンネルEQに、オンのEQバンドが含まれることがあります。

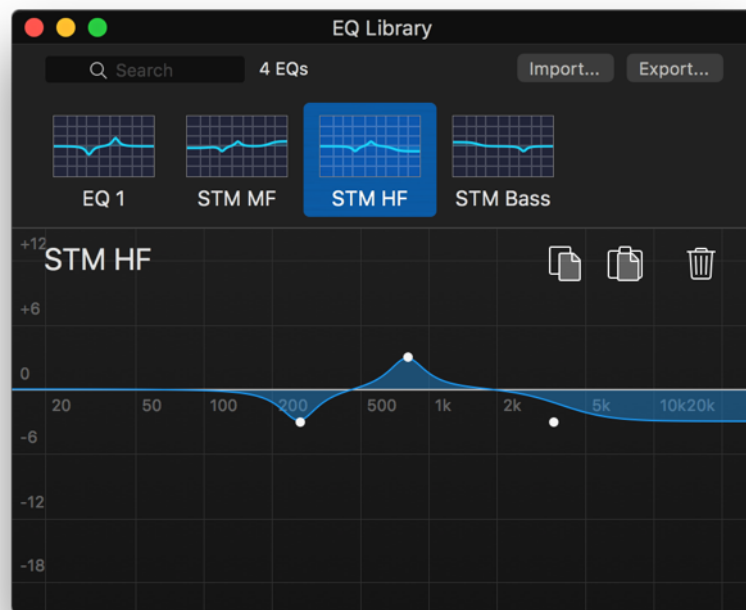
EQライブラリ

NEXO NeMoでは、EQを保存して再利用および共有できます。

EQライブラリへのEQの保存

EQライブラリにEQを追加するには、以下の手順を実行します。

1. EQのサムネイルを押してから虫めがねアイコン  を押し、EQ編集ビューを開きます。
2. コピーするEQを強調表示して、 を押すか、右クリックして「Copy selected EQ(s)」を選択します。
3.  を押してEQライブラリを開きます。そこで、 を押すか、[Cmd] + [V] を押すか、右クリックして「Paste」を選択します。モバイル: 「+」を押すこともできます（EQライブラリが空の場合は、この動作が必要です）。
4. EQライブラリでEQが選択されていた場合は、コピーしたEQを新しいEQとしてライブラリに追加するか、コピーしたEQに一致するように選択したEQを更新するかを選択できます。
5. ライブラリ内のEQの名前を変更できます。モバイル: EQを選択して、下部にある名前を押します。デスクトップ: サムネイルリストでEQの名前をダブルクリックします。



備考:

EQライブラリは、NXAMPもしくは他のNEXO機器、またはセッションファイル（「.nemo」）には保存されず、コンピューターまたはモバイル端末に保存されません。

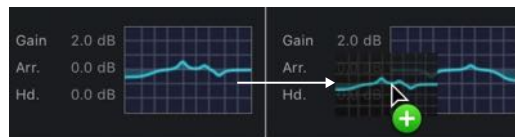
ライブラリからEQを呼び出し

EQライブラリからEQを適用するには、以下の手順を実行します。

1. EQライブラリを開きます（上記を参照、または「Window」>「EQ Library」を選択するか、[Cmd] + [Shift] + [E] を押します（デスクトップ））。
2. 保存されたEQの中から呼び出すEQを押します。
3.  を押すか、[Cmd] + [C] を実行します。
4. EQビューに戻り（上記を参照）、 を押すか、[Cmd] + [V] を実行します。
5. EQがすでに存在する場合、ライブラリからコピーしたEQで置き換えるか、ライブラリEQのバンドを表示されたEQに追加するかを選択できます。

ヒント: EQのドラッグアンドドロップ（デスクトップ版のみ）

ライブラリ間またはチャンネル間でEQをコピーアンドペーストする場合は、ドラッグアンドドロップを実行します。EQのサムネイルまたはEQのグラフをクリックして1秒そのまま保持し、別のサムネイルまたはグラフにドラッグします。



圧縮設定も、ドラッグアンドドロップでコピーアンドペーストできます（後述を参照）。

EQライブラリの書き出し

EQライブラリを書き出して、別のNeMoで使用できます。これを行なうには、以下の手順を実行します。

1. EQライブラリを開きます（前述を参照）。
2. 「Export...」または  を押します。書き出されたファイルの拡張子は「.nxeq」です。モバイル版のみ: アプリのサンドボックスのファイルの中にあるドキュメントを利用できます（手順はモバイル端末のシステムによって異なります）。

EQライブラリの読み込み

（他のNeMoなどから）EQライブラリを読み込むことができます。読み込まれたEQは個々のライブラリ内で使用でき、チャンネル上で呼び出すことができます。

EQライブラリを読み込むには、以下の手順を実行します（モバイル版ユーザーのみ）。

1. 読み込む「.nxeq」ファイルを、モバイル端末のアプリのファイルサンドボックスに追加します（手順はモバイル端末のシステムによって異なります）。NEXO NeMoの行を押します。
2. NEXO NeMoから、目的のEQ編集ビューを開きます。そこで  を押してEQライブ

ラリを開き、「+」を押します。「Import...」を押します。

3. 読み込む「.nxeq」ファイルを選択します。
4. 次に、ライブラリのEQを読み込んだEQで置き換えるか、読み込んだEQを追加します。

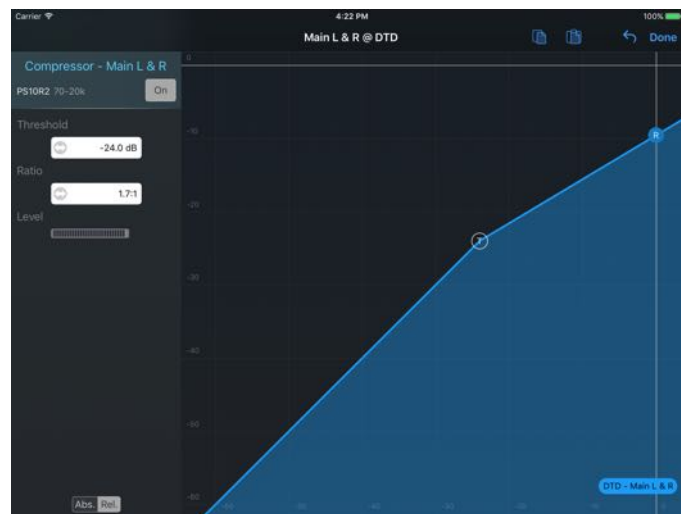
EQライブラリを読み込むには、以下の手順を実行します（デスクトップ版ユーザーのみ）。

1. EQライブラリを開きます（前述を参照）。
2. 「Import...」を押して読み込む「.nxeq」ファイルを選択します。
3. 読み込んだファイル内のEQをライブラリの現在のEQに追加するか、前のEQを削除するかを選択します。

EQライブラリは、デスクトップ版NeMoとモバイル版NeMoの間で互換性があります。

コンプレッサーの編集（DTDのみ）

「Control」タブでコンプレッサーのプレビューを利用できます。サムネイルを押し、虫めがねアイコンを押すと、コンプレッサーの編集ビューが表示されます。



スレッシュホールド（T）とレシオ（R）の丸いアイコンをドラッグしてコンプレッサーを編集します。

「ON」ボタンを押してコンプレッサーのオン/オフを設定します。カーブはそれぞれ青か赤になります。

圧縮レベルを表示できます。

 ボタンと  ボタンを使用して、チャンネル間でコンプレッサー設定をコピーアンドペーストできます。

シーンピッカー（デスクトップのみ）

グループモードで、機器バー  の右側に表示されたシーン番号を押します。シーン

ピッカーがポップオーバーで表示されます。

シーンピッカーを使用できるのは、対応する（NXAMP）オンライン機器のみです。

シーンを読み込むと、選択した機器のシーンのリストが表示されます。選択した機器間でシーン名が異なる場合、シーン名は「Multiple」になります。

シーンを選択します。

そのシーンを呼び出すには「**Recall**」を押します。選択した機器のパラメーターには、そのシーンに保存された値が使用されます。この操作は取り消すことができません。このシーンが複数の場合、各機器にはそれぞれのシーンの値が使用されます。

そのシーンを削除するには「**Delete**」を押します。この操作は取り消すことができません。

そのシーンを保存するには「**Save**」を押します。そのあと、シーン名を決められます。これにより、そのシーンに以前保存されたデータが上書きされます。この操作は取り消すことができません。

選択したシーンにデータを貼り付けるには、[Cmd] + [C] を押すか「Edit」>「Copy」を選択してシーンをコピーし、別のシーンを選択して [Cmd] + [V] を押すか「Edit」>「Paste」を選択します。この操作は機器の値ではなく、そのシーンにのみ影響します。

シーンを共有するには「[読み込み/書き出し](#)」を参照してください。

コピー/貼り付け

1つのチャンネルまたは1台の機器のすべてのパラメーター（Inpatch、Mute、Delay、Volume、Gain、Presetなど）をコピーして、1つまたは複数の他のチャンネルまたは機器に貼り付けることができます。

パラメーターをコピーして貼り付けるには、以下の手順を実行します。

1. 機器またはチャンネルを選択します。
2. 「Control」タブで  または [Cmd] + [C] を押すか、右クリックして「Copy」を選択します。デスクトップ: 右クリックした場所によって、機器またはチャンネルの設定をコピーできます。
3. 他の機器またはチャンネルを選択します。
4. 「Control」タブで  または [Cmd] + [V] を押すか、右クリックして「Paste」を選択します。
5. モーダルシートが表示され、貼り付ける内容と、異なる値を持つ複数の機器またはチャンネルをコピーした場合には、貼り付ける値を持っている機器またはチャンネルを選択して確定します。
6. 確定します。

元に戻す/やり直し

すべての操作は元に戻したりやり直したりできます。元に戻す/やり直す操作では、その操作が実行されたチャンネルおよび機器の数も再現されます。

貼り付け操作（前述を参照）を元に戻すことができます。

元に戻す/やり直しは、別のタブにも使用できます。

モバイル版ユーザーのみ

を押します。アクションシートが表示され、前の操作を元に戻すか、最後に元に戻した操作をやり直すかを選択できます。

デスクトップ版ユーザーのみ

元に戻すには、[Cmd] + [Z] を押すか、「Edit」 > 「Undo」を選択します。やり直すには、[Cmd] + [Shift] + [Z] を押すか、「Edit」 > 「Redo」を選択します。

すべてのリセット

選択した機器またはチャンネルで特定のパラメーターをリセットするには、 を押してリセットする項目を選択します。

すべてのパラメーターをデフォルト値に戻すために、FLATセットアップを呼び出すこともできます（「[「Setup」タブ](#)」を参照）。

注意: ビューの更新

特にスタンバイモードを終了した直後は、ビューのパラメーターが更新されるまでに少し時間がかかる場合があります。

「SETUP」タブ

「Setup」タブを開きます。このタブでは、既存のプリセット（「NEXOセットアップ」という）を呼び出すか、チャンネルごとのプリセット（「カスタムセットアップ」という）を構築できます。

プリセットを呼び出す前に、コントロールする機器が正しく選択されていることを確認してください。「[重要: 選択した機器](#)」の項を参照してください。

デスクトップ: 「[セットアップピッカー（デスクトップ版のみ）](#)」での説明に従い、「Control」タブに移動してプリセットを編集します。

ツールバーの表示（小型画面のみ）

ツールバーを表示するには、「More」を押します。

セットアップライブラリの読み込み

機器からセットアップライブラリが読み込まれます。この操作には数分かかります。1ロードあたりにライブラリが1つあります。ロードのライブラリの読み込みが実行され、読み込み後、.nxloadファイルとしてコンピューター/モバイル端末に保存されます。選択した機器に異なるロードが存在する場合（たとえば、LOAD4_01とLOAD4_10）、複数の読み込み操作が行なわれます。進捗バーに、これらの操作のステータスが表示されます。

読み込み操作が正常に完了しなかった場合にセットアップライブラリを再読み込みするには、スタート画面から「Preferences」メニューを表示し、ロードを選択して、再読み込みするロードの行を削除します。

NeMoには、ライブラリの読み込みを省略できるように、Appのリリース時の最新のライブラリが含まれています。

「Preferences」>「Loads」で許可されている場合、NeMoは自動的に遠隔地のサーバーから最新のプリセットライブラリをダウンロードすることもできます（「」を参照）。

NEXOセットアップおよびカスタムセットアップ

スタンダードセットアップまたはカスタムセットアップのいずれかのビューを表示できます。ナビゲーションバーの「NEXO」または「Custom」をタップして、「NEXO」ビューまたは「Custom Setups」ビューを表示します。

現在のセットアップ

現在のセットアップとは、選択した機器でアクティブなセットアップです。

NEXOセットアップビュー（NXAMPのみ）

現在のセットアップの行は青色で表示されます。現在のセットアップが異なる複数の機器を選択している場合、それらのセットアップの行がオレンジ色になります。

リスト内で現在のセットアップに移動するには、ツールバーのをタップします。

現在のセットアップと同じファミリーに属するセットアップのみを表示するには、ツールバーの「**Same family**」をタップします。

現在のセットアップのいずれかがカスタムセットアップの場合、アラートが表示されカスタムセットアップビューに切り替えられます。

カスタムセットアップビュー

現在のキャビネットおよび各チャンネルのモードが、ビューの一番下に表示されます。カスタムセットアップが異なる複数のアンプを選択している場合、「Multiple」という値が表示されます。チャンネルがブリッジ接続されている場合、「Bridged」という値が表示されます。

ピッカー内で現在のカスタムセットアップに移動するには、ツールバーのをタップします。

NEXOセットアップの呼び出し

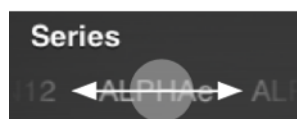
NEXOセットアップを呼び出すには、以下の手順を実行します。

1. NEXOセットアップビューを開きます（「[NEXOセットアップビュー（NXAMPのみ）](#)」の項を参照）。
2. 呼び出したいセットアップまで、リストをスクロールします。リストの右側にあるインデックスバーを使用できます。呼び出したいセットアップに最も近いインデックスをタップするか、そのインデックスまでインデックスバーをスクロールします（たとえば、セットアップ#176の場合はインデックス170）。
3. 検索バーに名前の一部またはセットアップの番号を入力することもできます。
4. 行をタップしてセットアップを呼び出します。警告メッセージで確定する必要があります。セットアップが実際に呼び出されると、行が青色になります。

カスタムセットアップの作成

カスタムセットアップを呼び出すには、以下の手順を実行します。@howto

1. 「Custom」ビューを開きます（「[カスタムセットアップビュー](#)」の項を参照）。
小型画面のみ: セットアップを変更するチャンネルをタップして表示します。
2. ピッカー上で左右にスワイプするか、横にスクロールして、正しい「Series」を選択します。

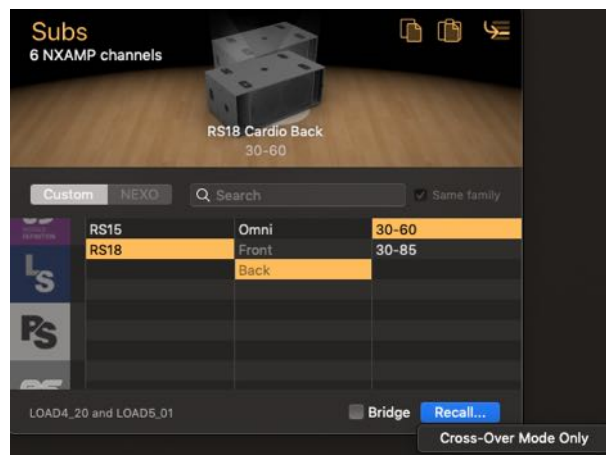


3. 同様に正しい「Cabinet」を選択します。
4. 同様に正しい「Cabinet mode (Cab. mode)」を選択します。

5. 同様に正しい「Crossover mode (XO mode)」を選択します。
6. チャンネル1と2またはチャンネル3と4をブリッジ接続するには、 をタップします。
7. ピッカーの値が希望どおりになったら、「Set」をタップします。そのあと、「Set」をタップしたチャンネルのみでカスタムセットアップを呼び出すか、またはすべてのチャンネル用に選択したカスタムセットアップを呼び出せます。

クロスオーバーモードのみの呼び出し

ゾーンにはバックとフロントのカーディオイドサブ用チャンネルが含まれる場合があります。両方のカスタムセットアップに対しては、クロスオーバーモードのみの編集も行なえます。これを行なうには、リストからクロスオーバーを選択して「Recall」を押し、「Cross-Over Mode Only」を選択します。



ヒント:

 (コピー) および  (貼り付け) をタップして、チャンネル間で「Series-Cabinet-Mode-XO」の設定をコピーアンドペーストできます。

複数の値

複数のロード

選択した機器のロードが異なり、その結果、異なるセットアップライブラリが含まれる場合があります。表示されたライブラリはすべてのライブラリの共通部分です（つまり、セットアップはすべてのロードに属する場合にのみ表示されます）。現在のロードは、ビューの一番下に表示されます。

複数の現在のセットアップ

選択した機器の現在のセットアップが異なる場合があります（たとえば、ある機器のセットアップは#1で、別の機器のセットアップは#46）。その場合、「Standard」ビューの現在のセットアップの選択行は緑色で表示されます。

カスタムセットアップが複数の場合、「Custom」ビューの一番下に「Multiple」と表示

されます。

不明な値

現在のセットアップがカスタムセットアップの場合、「NEXO」ビューには表示されず、「Custom」ビューに切り替える必要があります。をタップすると、警告メッセージが表示され、「Custom」ビューへの切り替えを促されます。

ライブラリの読み込み中にエラーが発生するか、現在のセットアップが現在のロードの共通部分に属さないためにカスタムセットアップの値が不明な場合、「Unknown」または「—」と表示されます。その場合、セットアップライブラリの再読み込みを試します。

「SCENE」 タブ

「Scene」タブを開きます。メインビューには、選択した機器のすべてのシーン（0～31）のリストが表示されます。シーンを使用すると、機器の設定および現在のプリセットを保存できます。空のシーンは名前が「-Empty-」になります。シーンがカスタムセットアップに関連付けられている場合、キャビネットおよびクロスオーバーモードがシーンの名前の横に表示されます。

デスクトップ: 「[シーンピッカー（デスクトップのみ）](#)」での説明に従い、「Control」タブに移動してシーンを編集します。

注意:

シーンはNeMoではなく、NXAMPに直接保存されます。シーンはDTDでは使用できません。

シーンを保存または呼び出しする前に、コントロールする機器が正しく選択されていることを確認してください。「[重要: 選択した機器](#)」の項を参照してください。

シーンの読み込み

シーンのリストは、選択した機器から読み込まれます。操作は、セッションごとおよび機器ごとに行なわれます。進捗バーにステータスが表示されます。

選択した機器のシーンを再読み込みするには、 をタップします。

現在のシーン

選択したシーンの行は青色になります。シーンの番号が異なる複数のアンプを選択している場合、現在のシーンの行が緑色になります。リスト内で現在のシーンに移動するには、ツールバーの をタップします。

シーンの保存

選択したすべての機器の設定および現在のセットアップ（警告: 設定および現在のセットアップは機器によって異なる場合があります）を保存するには、以下の手順を実行します。

1. 保存するシーンの行をタップします。**警告:** シーンを保存すると、同じ番号の既存のシーンのデータが消去されます。
2. シーン名のテキストフィールドをタップします。キーボードが表示されます。使用する名前を入力して確定します。
3. 「Save」をタップしてシーンを保存するか、「Cancel」をタップします。

シーンの呼び出し

選択したすべての機器のシーン（警告: 同じ番号のシーンは機器によって異なる場合があります）を呼び出すには、以下の手順を実行します。

1. 呼び出すシーンの行をタップします。
2. 「Recall」をタップしてシーンを呼び出すか、「Cancel」をタップします。

備考:

Demoモードでは、シーンの保存および呼び出しは部分的に行なえます。

複数の値

選択したアンプ間で現在のシーン番号が異なる場合、現在のシーンの行がすべてオレンジ色になります。そのあとシーンを呼び出すと、現在のシーンが1つになり、青色で選択されます。

選択した機器のシーンが同じ番号で名前が異なる場合、表示名が「Multiple」になります。

選択した機器のシーンの番号が同じで、保存されているキャビネットが異なる場合、キャビネットの表示名が「Mult.」になります。

コピー/貼り付け

1台の機器のシーンを1つまたはすべてコピーして、1台以上の機器に貼り付けることができます。これを行なうには、NXAMPにLOAD3_16以上がインストールされていることを確認し、以下の手順を実行する必要があります。

すべてのシーンのコピー/貼り付け

ある機器のすべてのシーンを他の機器にコピーするには、以下の手順を実行します。

1. （セレクトターなどから）機器を選択します。
2. 「Scene」タブで、（コピー）をタップします。
3. コピー操作が完了したら、シーンを貼り付ける機器を選択します。
4. 「Scene」タブで、（貼り付け）をタップします。これによって既存のシーンがすべて消去されるため、操作の確定を促す警告が表示されます。

1つのシーンのコピー/貼り付け

ある機器の特定のシーンを他の機器にコピーするには、以下の手順を実行します。

1. （セレクトターなどから）機器を選択します。
2. 「Scene」タブで、コピーするシーンの行をタップし、（コピー）をタップします。
3. コピー操作が完了すると、シーンを貼り付ける機器を選択します（同じ機器の別の番号にシーンを貼り付けることができます）。

4. 「Scene」タブで、（貼り付け）をタップします。これによって、コピーしたシーンがコピー元と同じ番号に貼り付けられます。
5. または、「Scene」タブで、コピーしたシーンを貼り付ける行をタップし、をタップします。

読み込み/書き出し

選択した機器のシーンを含むファイルを書き出しておいて、あとからそれらを同じ機器または別の対応機器に読み込むことができます。

シーンの書き出し

1つまたは複数の機器のシーンをファイルとして書き出すには、以下の手順を実行します。

1. セレクターで、書き出すシーンを含む機器を選択します。
2. 「Scene」タブを開きます。
3. （デスクトップ）または （モバイル）を押したあと「**Export All Scenes**」を押し、ファイル名を選択します。シーンが完全に読み込まれると、選択した書き出し先で（デスクトップ）、またはアプリのサンドボックスのファイルの中から（モバイル）、「.nxscenes」ファイルを使用できるようになります。

1つのシーンの読み込み

あるファイルからの特定のシーンを1つまたは複数の機器に読み込むには、以下の手順を実行します。

1. セレクターで、シーンの読み込み先となる機器を選択します。
2. 「Scene」タブを開きます。
3. 読み込み先のシーンを押して選択します。
4. （デスクトップ）または （モバイル）を押したあと「**Import Scenes**」を押し、読み込むシーンを含む「.nxscenes」ファイルを選択します。
5. 新しいウィンドウが開き、このファイルに含まれるシーンのリストが表示されます。読み込むシーンを選択して「**Import into Scene...**」を押します。選択したシーンのデータが選択した機器の読み込み先のシーンのスロットに読み込まれます（たとえば、機器Aのシーン4のデータを機器Bのシーン10に読み込むことができます）。

備考:

シーンの読み込みによりシーンは機器に保存されますが、呼び出しはされません。現在の機器の構成は、読み込み操作によっては変更されません。読み込んだシーンの呼び出しの実行は、あとから選択できます。

複数のシーンの読み込み

あるファイルのすべてのシーンを1つまたは複数の機器に読み込むには、以下の手順を実行します。

1. セレクターで、シーンの読み込み先となる機器を選択します。
2. 「Scene」タブを開きます。
3.  (デスクトップ) または  (モバイル) を押したあと「**Import Scenes**」を押し、読み込むシーンを含む「.nxsscenes」ファイルを選択します。
4. 新しいウィンドウが開き、このファイルに含まれるシーンのリストが表示されます。「**Import and Replace All Scenes**」を押します。このファイルに含まれる対応するシーンがそれぞれの番号に読み込まれます（たとえば、ファイルにシーン4とシーン10が含まれている場合、それらは選択した機器のシーン4とシーン10に読み込まれます。この機器（1つまたは複数）の他のシーンに影響はありません）。

シーンライブラリ

NEXO NeMoのライブラリにシーンを保存すれば、ファイルに個別に書き出さなくてもシーンを保存できます。その後、接続された機器で保存したシーンを呼び出したり、ファイルに書き出して別のNeMo（デスクトップ用またはモバイル用）で使用したりできます。

シーンライブラリを開く

シーンライブラリを表示するには、以下の手順を実行します（モバイル版ユーザーのみ）。

1. オンラインの場合は、1つまたは複数の機器を選択して「Scene」タブを開きます。
2.  を押します。

シーンライブラリを表示するには、以下の手順を実行します（デスクトップ版ユーザーのみ）。

1. メニューバーで、「**Window**」>「**Library**」を選択するか、([Cmd] + [Shift] + [E])を押します。
2. 「Scenes」タブを開きます。

ライブラリにシーンを追加

ライブラリの1つまたは複数の機器のシーンを保存するには、以下の手順を実行します。

1. 1つまたは複数のシーンをコピーします（「[コピー/貼り付け](#)」の項を参照）。
2. シーンライブラリを開き、 を押す（モバイル）か、右クリックして「Paste」を選択するか、[Cmd] + [V] を押します（デスクトップ）。

ライブラリからシーンを読み込む

ライブラリからシーンを1つまたは複数の機器に貼り付けるには、以下の手順を実行します。

1. シーンライブラリを開き、読み込むシーンを選択します。
2. セレクターで、1つまたは複数の機器を選択して「Scene」タブを開きます。
3. 読み込み先のシーンを選択して  を押します。

シーンをライブラリから書き出す/ライブラリに読み込む

別のコンピューターまたはモバイル端末でライブラリを使用できるようにするには、ライブラリを「.nxscenes」ファイルとして書き出し、別の機器に読み込みます。

シーンライブラリを共有するには、以下の手順を実行します（モバイル版ユーザーのみ）。

1. シーンライブラリを開いて  を押してから「Export」を押します。
2. NEXO NeMoのサンドボックス内のファイルの中から「.nxscene」ファイルを取得し（手順はモバイル端末のシステムによって異なります）、コンピューターまたは他のモバイル端末のNeMoのサンドボックス内にファイルを移動します。
3. 後者のモバイル端末でNEXO NeMoを開き、シーンライブラリを開きます。
4.  を押してから「Import」を押し、読み込むファイルを選択します。

シーンライブラリを共有するには、以下の手順を実行します（デスクトップ版ユーザーのみ）。

1. シーンライブラリを開いて「Export」を押します。作成する「.nxscenes」ファイルの名前と場所を選択します。このファイルには、NeMoのライブラリに含まれるすべてのシーンが含まれます。
2. 別のコンピューター（またはモバイル端末、後述を参照）で、シーンライブラリを開いて「Import」を押します。読み込む.nxscenesファイルを選択します。
3. 新しく開いたウィンドウで「Add to Library」を押します。

ヒント: シーンのドラッグアンドドロップ（デスクトップ版のみ）

シーンの読み込み/コピー/貼り付けは、ドラッグアンドドロップで簡単に行なえます。たとえば、「Control」タブでシーンライブラリのシーンを選択した機器のシーンのリストにドラッグすれば、そのシーンを読み込むことができます。反対に、リストからライブラリにシーンをドラッグすれば、そのシーンをライブラリに保存できます。

シーンの削除

シーンを削除するには、削除するシーンの行をタップし、 をタップします。操作の確定を求める警告が表示されます。この操作は元に戻せません。

セッションの終了

モバイル版ユーザーのみ

セッションを終了するには、下タブバーの「**Disconnect**」をタップします。スタート画面が表示されます。セッションを閉じると、そのセッションの編集内容が自動的に保存されます。

デスクトップ版ユーザーのみ

このセッションに関連付けられたすべてのウィンドウを閉じるか「*File*」>「*Close session*」を選択することでセッションを閉じることができます。

セッションを終了する際、編集が行なわれている場合は、保存するかどうかの確認が求められます。

オフラインモードを使用できるため、セッションを終了しなくても、インスペクター ⓘ のオンラインスイッチ  を使用してオフラインにできます。

セッション

NeMoでは、セッションのデータの保存および読み込みにファイル（拡張子は「.nemo」）が使用されます。



セッションには以下のものが含まれます。

- シーンを除くすべてのパラメーター値、デバイスのエイリアスおよびネットワークマップでの場所
- グループの名前、色、構成、順序、およびマップビューでの場所
- 「Network」タブのカスタムコントロールスペース
- 背景画像
- 名前と説明
- アラートとレッドアラートの設定
- ユーザープロフィール

複数のセッションを用意し、現在の構成にあったものを開くことができます。また、1台のコンピューターまたはモバイル端末でセッションを作成し、別のコンピューターまたはモバイル端末で共有すれば、複数のユーザーが同じセッションを使用することもできます（フロントオブハウスとモニターなど）。

1つのセッションを複数のNeMoで共有している場合、1つを変更しても別のデバイスには反映されません。

モバイル版のみ

現在のセッションは自動的に保存されるため、お客様の操作は必要ありません。

セッションファイルは、モバイル端末のNEXO NeMoのファイルサンドボックスに収められます（アクセス方法はモバイル端末のシステムによって異なります）。

デスクトップ版のみ

NeMoの使用中に開いたセッションは自動的にキャッシュに保存され、アプリケーションが異常終了した場合に復旧が可能です。

しかし、NeMoの以前のバージョンとは異なり、セッションをドキュメントに保存するのは自分で行なう必要があります。初回は「File」>「Save as」または [Cmd] + [Shift] + [S]、以降は「File」>「Save」または [Cmd] + [S] を使用してください。詳しくは、「[セッションの終了](#)」の項も参照してください。

セッションの保存状態は、インスペクターの「Status」セクション内の「Session」セク

ションに表示されます（後述を参照）。

「Sessions」メニュー

モバイル版ユーザーのみ

「Sessions」メニューを開くには、以下の手順を実行します。

1. スタート画面（Appの起動時または「Disconnect」を押したあとに表示されるビュー）に移動します。
2. 「Preferences」をタップして、「Preferences」メニューを開きます。
3. 「Sessions」をタップします。

「Sessions」メニューに、NeMoの書類ディレクトリにあるすべてのセッションが表示されます。選択したセッションは、「Config」または「Live」を次回タップしたときに開かれます。

「Demo」セッションの行もあります。「Demo」セッションは、「Demo」をタップしたときに開かれます。

セッションの詳細を表示するには、 を押します。

デスクトップ版ユーザーのみ:

デスクトップ版では、開くウィンドウがすべてセッションに関連付けられ、その名前がウィンドウのタイトルになります。

同じセッション用に別のウィンドウを開くことができます（「Recap」タブと「Control」タブを表示したい場合など）。これを行なうには、「File」>「Open...」または「File」>「New」でセッションを開き、「Window」>「New Window」を選択します。

異なるセッションを複数のウィンドウで同時に開くこともできますが、セッションからセッションヘデータをコピーするときや比較を行なうときを除いては、使用する機会はありません。

注

複数のセッションを開いている場合、一度にオンラインにできるのは1つのセッションだけであることに注意してください。

表示されるウィンドウの「Session」メニューを開くには、以下の手順を実行します。

1.  を押してインスペクターを表示し、「Status」タブを選択します。
2. 「Session」セクションで  を押すと、セッションの詳細がポップオーバーとして表示されます。

セッションの作成、保存および移動

モバイル版ユーザーのみ

デフォルトでは、1つのセッションが作成されます。他のセッションを作成するには、以下の手順を実行します。

1. 「Sessions」メニューを開きます（「[「Sessions」メニュー](#)」の項を参照）。
2. 「+」をタップします。新しいセッションがリストに追加されます。

デスクトップ版ユーザーのみ

1. 「File」 > 「New」を選択するか、[Cmd] + [N] を押します。または、起動時でウィンドウにスタート画面が表示されている場合は、「New Session」をダブルクリックします。
2. 新しく作成したセッション用に新しいウィンドウが表示されます。作成したセッションに名前を付けて場所を選択するには、「File」 > 「Save as...」または [Cmd] + [S] を実行します。
3. セッションを移動するには、「File」 > 「Move To」を選択するか、セッション詳細ポップオーバー（「[「Sessions」メニュー](#)」の項を参照）で  を押します。
4. 編集したとき、セッションは自動的にキャッシュに保存されますが、終了時や中間バージョンを保存するときは、手動で保存する必要があります。「File」 > 「Save」を選択するか、[Cmd] + [S] を押します。
5. 次に、「File」 > 「Revert To」を選択すると、以前に保存したセッションのバージョンに戻すことができます。
6. 「File」 > 「Save as...」を選択すると、セッションの新しいコピーが作成されます。

セッションの編集

セッションを編集するには、以下の手順を実行します。

1. セッションの詳細を表示します（「[「Sessions」メニュー](#)」の項を参照）。
2. 新しく表示されたビューで、セッションの名前および説明を編集できます。前回開いたときのセッションのプレビューに加えて、含まれているグループ、ゾーン、機器、および画像の数も確認できます。

ユーザープロファイルの指定

管理者（セッションの作成者）は、たとえば、閲覧者と呼ばれる他のユーザーの権限を制限するために、さまざまなプロファイルを指定できます。管理者のアイコンは  で、閲覧者のアイコンは  で表示されます。

管理者は、閲覧者に対してさまざまな機能を有効化または無効化できます。具体的には、閲覧者に対して「Network」タブのカスタムスペースの作成と編集を許可せず、使用のみを許可するように指定できます。

プロファイルがセッションに対して有効になっている場合、そのセッションを開くに

は、プロファイル（管理者またはいずれかの閲覧者）とそのパスワードを使用する必要があります。この時点から使用できる機能は、セッションが閉じるまで、選択したプロファイルによって異なります。

プロファイルの作成は、デスクトップ版NeMoのみで行なえます。プロファイルの使用は、デスクトップ版NeMoとモバイル版NeMoの両方で可能です。

注

本稿執筆時点では、プロファイルの編集はまだ行なえません。

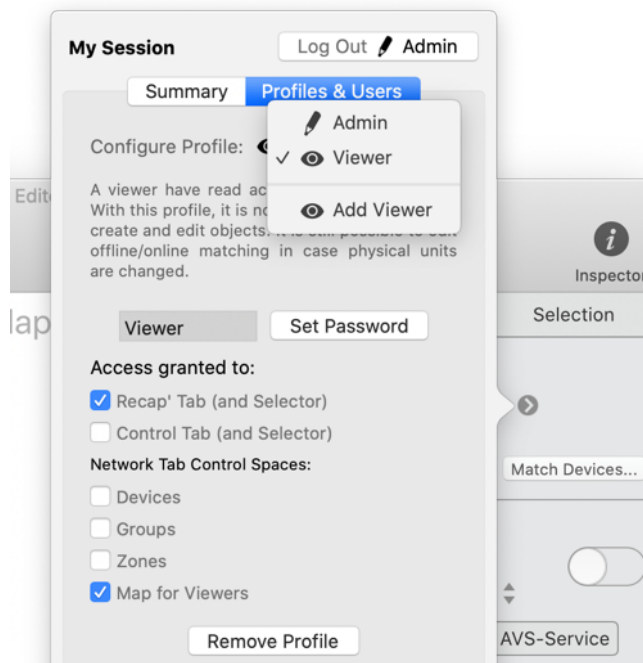
プロファイルの有効化、作成、編集、および削除

セッションの管理者の場合、プロファイルを有効化/無効化したり、管理者パスワードを編集したりするには、以下の操作を行ないます。

1. セッションの詳細を表示（「[「Sessions」メニュー](#)」の項を参照）して、「**Profiles & Users**」タブを開きます。
2. 「**Start Using Profiles**」を押します。セッションの作成者が管理者となります。
3. ボックスの上部に、「Configure Profile: Admin」と表示されます。パスワードを編集するには「Set Password」を押します。パスワードは空白にすることも、任意の数字または文字を使用することもできます。
4. プロファイルの使用を無効化するには、「**Stop Using Profiles**」を押します。作成したプロファイルは削除されず、無効化のみされます。次にセッションが開かれたとき、（管理者プロファイルを使用時のように）すべての機能にアクセスでき、パスワードも求められません。

管理者の場合、閲覧者のプロファイルを作成、編集、または削除するには、以下の操作を行ないます。

1. セッションの詳細を表示（「[「Sessions」メニュー](#)」の項を参照）して、「**Profiles & Users**」タブを開きます。
2. を押して編集するプロファイルを選択するか、「Add Viewer」を押して新たに閲覧者プロファイルを追加します。
3. テキストフィールドを使用してプロファイルの名前を変更します。
4. パスワードを編集するには「**Set Password**」を押します。
5. 機能のチェックボックスをオンまたはオフにして、この閲覧者プロファイルを使用してセッションを開いたときにそのセッションで使用できる機能を選択します。
6. プロファイルを削除するには「**Remove Profile**」を押します。



閲覧者プロファイルの編集

注

最初は、管理者および閲覧者プロファイルのパスワードは空白になっています。

注

作成、編集、削除の操作はいずれも取り消すことができます。

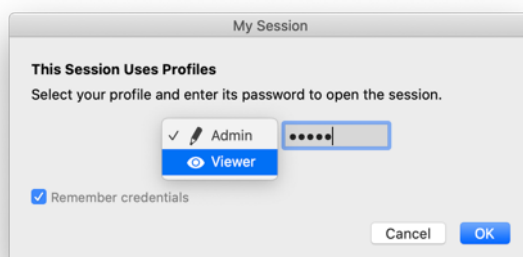
注

プロファイルの有効化、作成、編集、および削除は、セッションを管理者プロファイルで開いた場合にのみ行なえます。セッションを閲覧者プロファイルで開いた場合、「Profiles & Users」タブは読み取り専用となります。

注

セッションのファイルをコピーまたは共有する際、プロファイルは保持されます。

プロファイルの使用



プロファイルを使用してセッションを開く

プロファイルが有効化されている状態でセッションを開く場合、使用可能なプロファイルから使用するプロファイルを選択してパスワードを入力する必要があります（パスワードは空白でも可）。選択したプロファイルに対してアクセスが許可された機能のみ使用できます。



管理者プロファイルで開いたセッションの例



閲覧者プロファイルで開いたセッションの例（上記の構成を参照）

セッションを閲覧者プロファイルで開いた場合、セッションは必ずオンラインになります。

開いているセッションのプロファイルを変更するには、以下の操作を行います。

1. セッションの詳細を表示（「[Sessions](#)」メニューの項を参照）して、「Profiles & Users」タブを開きます。
2. ポップオーバーの右上角にある「Log Out」を押します。

プロファイルが無効化されている状態でセッションを開く場合、プロファイルの確認はなく、セッションのすべての機能を使用できます。

パスワードを忘れた場合

管理者は閲覧者にパスワードを伝えておく必要があります。閲覧者がパスワードを忘れた場合は、管理者に連絡して再度パスワードを伝えてもらうか、閲覧者のパスワードをリセットします。管理者がパスワードを忘れた場合は、セッションをNEXOテクニカルサポート（technical@nexo.fr）に送って、パスワードをリセットします。

セッションの書き出し（モバイル版のみ）

セッションは複数の方法で書き出すことができます。

サンドボックス

モバイル端末をコンピューターに接続すると、モバイル端末のNEXO NeMoのファイルサンドボックスからセッションファイルを読み出せます（手順はモバイル端末のシステムによって異なります）。

選択した方法でセッションファイルを共有することで、他のモバイル版またはデスクトップ版のNeMoで開けるようになります。

メール、AirDrop、メッセージ

メール、AirDrop、またはメッセージを使用してセッションを共有するには、以下の手順を実行します。

1. 「Sessions」メニューを開きます（前述を参照）。
2.  をタップし、書き出すセッションを選択して、「**Share (xx)**」をタップします（またはセッションの詳細ビューに移動して「**Export**」をタップします）。
3. 表示されたアクティビティシートで、選択したセッションの共有方法を選択します。該当の「.nemo」ファイルが、メールまたはメッセージに添付されるか、AirDrop経由で送信されます。

AVS-Monitor

セッションをAVS-Monitor用に「.cfg」ファイルとして共有するには、以下の手順を実行します。

@how-to

1. 「Sessions」メニューを開きます（前述を参照）。
2.  をタップし、書き出すセッションを選択して、「**Share (xx)**」をタップします（またはセッションの詳細ビューに移動して「**Export**」をタップします）。
3. 表示されたアクティビティシートで、「AVS-Monitor」を選択します。
4. モバイル端末をコンピューターに接続します。モバイル端末のNEXO NeMoサンドボックス内のファイルの中から、書き出した「.cfg」ファイルを読み出します（ファイル名は書き出されたセッションの名前と同じです）。ファイルを任意の場所に保存します。
5. AVS-Monitorで、「File」>「Load...」を選択し、開く「.cfg」ファイルを選択します。読み込むエイリアスおよび/またはグループを選択できます。

セッションの書き出し（デスクトップ版のみ）

セッションは標準的なファイルであるため、Finder/Explorerを使用して、以下のようなさまざまな方法で共有できます。

- コピー/貼り付け
- NeMoで「File」>「Save as...」を選択するか、[Cmd] + [Shift] + [S] を押して複製
- メール、メッセージ、Teamsの会話などに添付
- Appleのエコシステム上で、AirDropを使用して別のMacまたはiOS機器と共有（セッションはmacOSとiOSの間で互換性があります）
- iCloud、Google Drive、DropBoxなどに保存

AVS-Monitor

セッションをAVS-Monitor用に「.cfg」ファイルとして共有するには、以下の手順を実行します。

1. 「File」 > 「Export」 > 「AVS-Monitor」を選択するか、[Cmd] + [E]を押します。
2. 「.cfg」ファイルを任意の場所に保存します。
3. AVS-Monitorから「File」 > 「Load...」を選択し、開く「.cfg」ファイルを選択します（場合によっては、Windowsでできるようにファイルを移動する必要があります）。読み込むエイリアスおよび/またはグループを選択できます。

セッションの読み込み（モバイル版のみ）

セッションは複数の方法で読み込むことができます。

サンドボックス

「.nemo」ファイルを読み込むには、以下の手順を実行します。

1. モバイル端末をコンピューターに接続します。読み込むセッションを、モバイル端末のNEXO NeMoのファイルサンドボックスに移動します（手順はモバイル端末のシステムによって異なります）。
2. モバイル端末でNEXO NeMoを起動し、「Sessions」メニューを開きます（「[「Sessions」メニュー](#)」の項を参照）。セッションリストに、読み込んだセッションが含まれています。
3. 開くセッションを選択して、ホームで「Config」または「Live」を押してセッションを開きます。

モバイル端末のその他のApp

モバイル端末のその他のApp（DropBox、メール、メッセージなど）に.nemoファイルが含まれている場合は、以下の手順を実行します。

1. 書類のアイコンをタップします。書類をNeMoで開くかどうかの確認が求められます。
2. NeMoから「Sessions」メニューを開きます（「[「Sessions」メニュー](#)」の項を参照）。セッションリストに、読み込んだセッションが含まれています。
3. 開くセッションを選択して、ホームで「Config」または「Live」を押してセッションを開きます。

AVS-Monitor

AVS-Monitorから「.cfg」ファイルを読み込むには、以下の手順を実行します。

1. AVS-Monitorで「File」 > 「Save as...」を選択して、「.cfg」ファイルを保存します。

2. モバイル端末をコンピューターに接続します。読み込む「.cfg」ファイルを、モバイル端末のNEXO NeMoのファイルサンドボックスに移動します（手順はモバイル端末のシステムによって異なります）。
3. モバイル端末でNEXO NeMoを起動して、「Sessions」メニューを開き（「[「Sessions」メニュー](#)」の項を参照）、「Import」をタップして、読み込む「.cfg」ファイルを選択します。セッションリストに、読み込んだAVS-Monitorのセッションが含まれています。
4. 開くセッションを選択して、ホームで「Config」または「Live」を押してセッションを開きます。

セッションの読み込み（デスクトップ版のみ）

セッションを開くには、以下の手順を実行します。

- Finder/Explorerで「.nemo」ファイルをダブルクリックします。
- またはNeMoで、「File」>「Open」を選択するか、[Cmd] + [O] を押します。
- macOS: または、（Dockまたはアプリケーションディレクトリにある）NeMoのアプリケーションアイコンに「.nemo」ファイルをドラッグします。

AVS-Monitor

AVS-Monitorから「.cfg」ファイルを読み込むには、以下の手順を実行します。

1. 「File」>「Import」を選択するか、[Cmd] + [I] を押します。
2. AVS-Monitorドキュメント内で検出された機器およびグループが作成されます。ただし、機器はデフォルトでは「unknown products」となっています。
3. 「Selector」タブまたは「Network」タブから機器を選択します。
4. 右クリックして「Products」を選択し、表示されたリストから適切な製品（NXAMPなど）を選択します。

セッションの削除

セッションを削除するには、以下の手順を実行します（モバイル版ユーザーのみ）。

1. 「Sessions」メニューを開きます（「[「Sessions」メニュー](#)」の項を参照）。
2.  をタップし、削除するセッションを選択して、「Clear (xx)」をタップします（またはセッションの詳細ビューに移動して「Delete」をタップします）。
3. この操作は元に戻せないため、操作の確定を求められます。

セッションを削除するには、以下の手順を実行します（デスクトップ版ユーザーのみ）。

1. セッションのすべてのウィンドウを閉じます（「File」>「Close session」を選択す

るか、[Cmd] + [Opt] + [W] を押します)。

2. Finder/Explorerで、「.nemo」ファイルを削除します（[Cmd] + [Del] を押すか、右クリックして「Move to Trash」を選択します）。

その他の保存データ

環境設定

NeMoには外観や動作のカスタマイズの方法が数多く用意されており、それらの設定を環境設定に保存できます。

環境設定を開くには、以下の手順を実行します（モバイル版のみ）。

1. スタート画面（Appの起動時または「**Disconnect**」のタップ後に表示されるビュー）に移動します。
2. 「**Preferences**」をタップして、「Preferences」メニューを開きます。

環境設定を開くには、以下の手順を実行します（デスクトップ版のみ）。

「NEXO NeMo」>「Preferences...」を選択するか、[Cmd] + [,] を押します。

プリセットライブラリ

NEXOで使用する用語において、「LOAD」とは、NXAMPなどのNEXO機器用のファームウェアを指します。これには、機器のチャンネルで呼び出せるプリセットのリストが含まれています。このリストはプリセットライブラリと呼ばれ、LOADごとに異なる場合があります（最近のLOADであるほど、より新しい製品のプリセットが含まれています）。

NeMoでは、NEXO機器から読み込まれたプリセットライブラリ（LOAD5_20など）が、「.nxload」ファイルに自動的に保存されます。

デフォルトでは、NeMoには最新のLOADの「.nxload」ファイルが含まれています。

新しいプリセットライブラリがNEXOからリリースされると、NeMoはインターネットからこれをダウンロードできます。

警告: プリセットライブラリファイル

「.nxload」ファイルには、NEXO機器のLOADが取得したすべてのプリセットのリストが含まれています。ただし、NeFuおよびDoryから開いてNEXO機器にロードして更新できるファームウェア（「.nxf」または「.dld」ファイル）は、これには含まれません。

「Loads」メニュー

「Loads」メニューを開くには、以下の手順を実行します。

1. 「Preferences」を開きます（「[環境設定](#)」の項を参照）。
2. 「Loads」を押します。新しく表示されたビューには、1つめのセクションにNEXO機器から読み込まれているライブラリ、2つめのセクションにNeMoに含まれているライブラリが表示されます

最新のプリセットライブラリのダウンロード

最新のプリセットライブラリをダウンロードするには、以下の手順を実行します（モバイル版ユーザーのみ）。

1. モバイル端末からインターネットにアクセスできることを確認します。
2. 「Loads」メニューを開きます（「[「Loads」メニュー](#)」の項を参照）。
3. 「**Get Latest presets Library**」を押します。

最新のプリセットライブラリをダウンロードするには、以下の手順を実行します（デスクトップ版ユーザーのみ）。

1. コンピューターからインターネットにアクセスできることを確認します。
2. 「Loads」タブを開きます（「[「Loads」メニュー](#)」の項を参照）。
3. 「**Check now**」を押して最新のプリセットライブラリをダウンロードします。
4. 「*Automatically check...*」チェックボックスをオンにすることもできます。こうすることで、最新のプリセットライブラリが自動的にダウンロードされるようになります（NeMoの実行時にコンピューターが常にインターネットにアクセスできる場合のみ）。

プリセットライブラリの再読み込み

NEXO機器から読み込まれたことのあるライブラリを再読み込みするには、以下の手順を実行します。

1. オフラインにします。
2. 「Loads」メニューを開きます（「[「Loads」メニュー](#)」の項を参照）。
3. モバイル版のみ: 「Loads」メニューで  をタップし、再読み込みするライブラリを選択して「**Clear (xx)**」をタップします（または再読み込みするロードの行を左にスワイプして「**Delete**」をタップします）。

デスクトップ版のみ: 再読み込みするプリセットライブラリ（通常は「incomplete」と表示されたライブラリ）を選択して「**Remove...**」を押します。

4. オンラインにします。そうすることでプリセットライブラリが再度読み込まれます。

プリセットライブラリの共有（モバイル版のみ）

1つのNeMoでプリセットライブラリを読み込んでから「.nxload」ファイルを共有することで、複数のNeMoで同じプリセットライブラリを読み込むことを回避できます。

サンドボックスを使用する場合:

1. 1台めのモバイル端末をコンピューターに接続します。このモバイル端末のNEXO NeMoのサンドボックスのファイルの中から、「.nxload」ファイルを選択し、コンピューターに保存します（手順はモバイル端末のシステムによって異なります）。

2. 2台めのモバイル端末をコンピューターに接続します。「.nxload」ファイルを2台めのモバイル端末のNEXO NeMoのファイルサンドボックスに移動します。
3. 2台めのモバイル端末でNEXO NeMoを起動します。「Loads」メニューに、読み込まれたプリセットライブラリが表示されます。

メール、メッセージ、またはAirDropを使用:

1. 1台めのモバイル端末で「Loads」メニューを開きます。
2.  をタップし、書き出すロードを選択して、「**Share (xx)**」をタップします。
3. 表示されたアクティビティシートで、選択したロードの共有方法を選択します。該当の.nxloadファイルが、メールまたはメッセージに添付されるか、AirDrop経由で送信されます。
4. 「.nxload」ファイルが2台めのモバイル端末で受信されると、NeMoで開くかどうかの確認を求められます。
5. NeMoの「Loads」メニューに、読み込んだロードが含まれます。

プリセットライブラリの共有（デスクトップ版のみ）

1つのNeMoでプリセットライブラリを読み込んでから「.nxload」ファイルを共有することで、複数のNeMoで同じプリセットライブラリを読み込むことを回避できます。これを行なうには、以下の手順を実行します。

1. 「Preferences」の「Loads」メニューを開きます。
2. 共有するライブラリを選択し、「**Export...**」を押して「.nxload」ファイルを保存します。
3. Finder/Explorer、メール、メッセージ、AirDropなどを使用して、「.nxload」ファイルを別のデスクトップまたはモバイル端末と共有します。
4. 別のNeMoで、「Preferences」の「Loads」メニューを開きます。
5. 「**Add...**」を押し、書き出した「.nxload」ファイルを選択します。含まれているロードのリストに表示されます。

セキュリティ

NeMoのセキュリティを保護するための方法が4つあります。

- Wi-Fiネットワークのセキュリティ（WPA2-Personal推奨）
- ローカルネットワークのセキュリティ（スイッチまたはルーターのMACおよびIPフィルタリング）
- NeMoのLiveモード（インターフェースのコントロールオブジェクトの使用権限レベルを変更します）

Liveモードへの切り替え

Liveモード（NeMoのセーフモード）に切り替えるには、以下のいずれかを行ないます。

- セッションを開く前に、スタート画面で「**Live**」をタップします（モバイル版のみ）。
- セッションが開いている間に、メインビューの  を2秒以上長押しして、Liveモードに切り替えます。次に  を2秒以上長押しすると、Configモードに戻ります。

AVS-Serviceがパスワードで保護され、Viewerでログインしている場合、Liveモードからは切り替えできません。

Liveモードの設定

Liveモードを設定するには、以下の手順を実行します。

1. 「Preferences」（「[環境設定](#)」の項を参照）の「Security」セクションを開きます。
2. 「Configure Live Mode」を押します（モバイル版のみ）。
3. コントロールのタイプ（ミュート/ソロ、「Control」タブ、「Setup」タブ、「Scene」タブ、元に戻す/やり直し）ごとに、セキュリティレベルを選択します。その他のパラメーターは「Advanced」で確認してください。

No security

Configモードのセキュリティレベルです。すべての変更が許可されます。

Ask for confirmation

変更しようとするたびに、警告メッセージが表示されます。確定後、変更がコントロール対象のNEXO機器に送られます。

Disable changes

変更は許可されません。ボタンやスライダーなどは無効になります。

ログ、アラート、およびタスク

NeMoでは、NEXO機器で発生する可能性があるアラート（ピークアラートなど）や、NeMoから1台または複数台のNEXO機器への進行中の書き込みタスク（新しいゲイン値の書き込みなど）、または他のネットワークアクティビティに対して警告が出されます。また、機器のすべての指定パラメーターがログに記録され、あとで表示または書き出すことができます。

タスク

プリセットライブラリの読み込みや、機器への新しいパラメーター値（ボリュームなど）の書き込みなど、進行中のタスクです。

イベント

機器の接続や切断、新しいダウンロードの準備完了など、ユーザーの注意が求められるイベントです。

ログ

NEXO機器の多くのパラメーターの値が内部データベースに記録されます。ログを表示したり書き出ししたりすることができます。

機器のシンプルなアラート

温度が上昇しすぎた場合のプロテクトなど、特定のイベントが発生したときに表示される、機器に関する警告です。

機器のレッドアラート

レッドアラートはポップアップで表示されます。このアラートは詳細に設定できます。機器のパラメーター（Amp temperatureなど）の値が指定の範囲に入り、指定の時間が経過した場合に表示されます。

アクティビティ

検出サイクルなど、バックグラウンドのイベントです。

Log Record

ログはLog Recordに記録されます。Log Recordは、ライブごとなど、必要な数だけ作成できます。記録を開始する前に、記録先のLog Recordを選択する必要があります。

[付録A: 使用可能なNEXO機器のパラメーター](#)に、Log Recordに値が記録されるパラメーターのリストを示します。各パラメーターについて、観測値の最大、最小、および平均が1分ごとに記録されます。

ログの表示

NEXO機器からLog Recordに記録された値は、記録中かどうかに関わらず、オンラインまたはオフラインで表示できます。

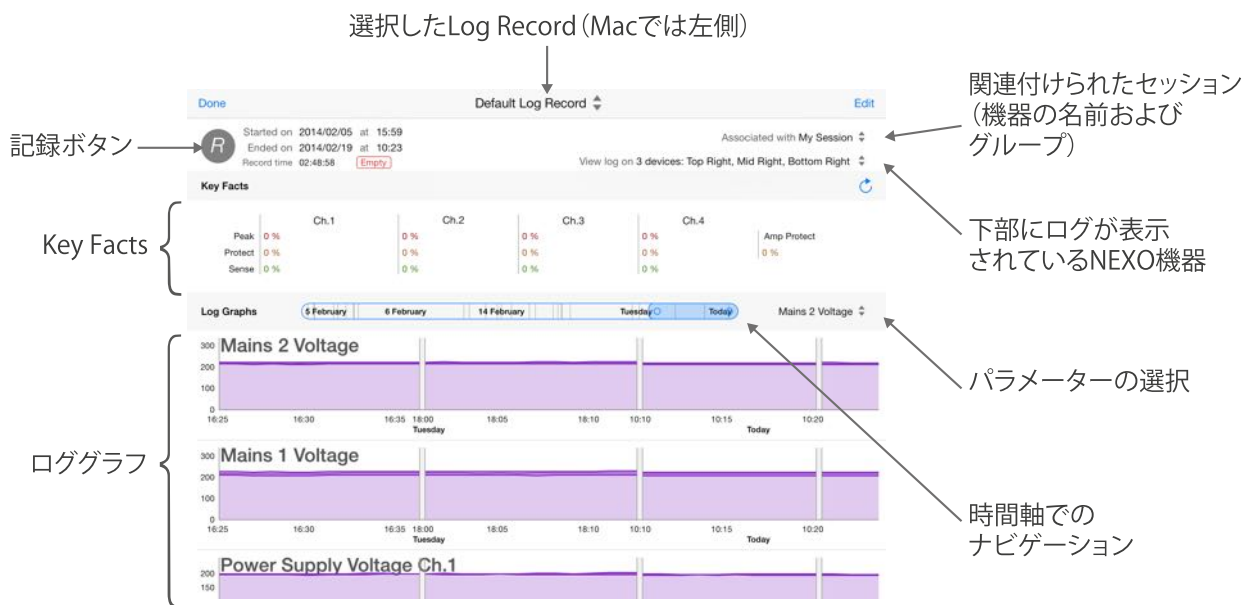
ログを表示、設定、および記録するには、以下の手順を実行します（モバイル版ユーザーのみ）。

- 「Preferences」を開き（「[環境設定](#)」の項を参照）、「Alerts and Log」セクションの「View Log」をタップします。
- または、セッションが開いている間に、「Network」タブのメインビューの左下角にある（または記録中は）をタップします。

ログを表示、設定、および記録するには、以下の手順を実行します（デスクトップ版ユーザーのみ）。

- インスペクター  を開き、「Log」セクションで  を押して「Show」を選択します。
- または、メニューバーで「Show」>「View Log」を選択するか、[Cmd] + [Opt] + [R] を押します。

ログビューが表示されます。



Log Recordの作成および選択

- 「Log Records」リストを開くには、以下の手順を実行します。

モバイル版ユーザーのみ: ログビューで、選択したLog Recordがタイトルに示されます。タイトルをタップして、「Log Records」リストを開きます。

デスクトップ版ユーザーのみ: 「Log Records」リストは「Log」ウィンドウの左側にあります。

- 「+」をタップして新しいLog Recordを作成するか、ログを記録するLog Recordの行を選択します。

ログの記録

ログを記録するには、ログビューを開き、Log Recordを選択して、**R** をタップします。パラメーター値の記録が開始されます。ログビューのヘッダーに、開始日と終了日（記録中でない場合のみ）、および選択したLog Recordの実際の記録時間が表示されます。

記録中は、記録ボタンが**R** になります（モバイル版の場合は**R**）。

Key Facts

「Key Facts」には、時間範囲での既定のパラメーター値（Channel protect、Peak Limiter、Sense、Amp protectなど）の発生率が、パーセントで表示されます。たとえば、「Ch.1」の「Protect」が3%の場合、チャンネル1のプロテクトが時間範囲で平均3%発生したことを意味します。

データベースでの計算はリソース消費が大きいため、「Key Facts」はリアルタイムで更新されません。ただし、**🔄** をタップすると、更新できます。

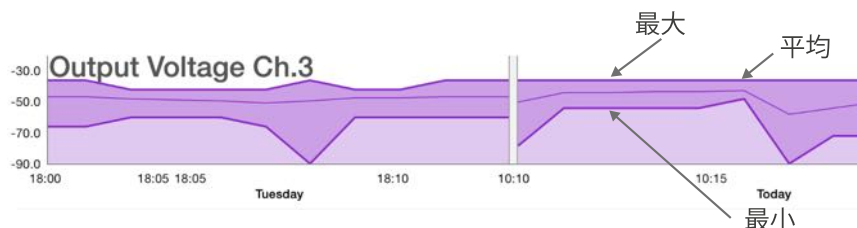
Macユーザーのみ:

表示するキーファクトをカスタマイズできます。これを行なうには、以下の手順を実行します。

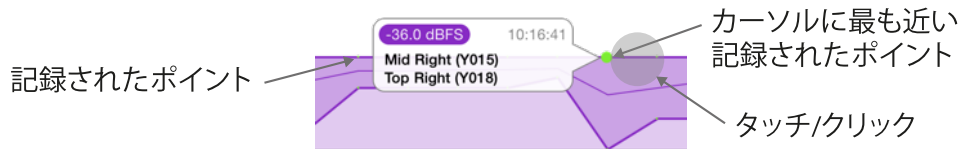
1. **✎** を押します。
2. 「Key Facts」セクションに表示するパラメーターを選択します。
3. 表示するヒストグラムの数を選択します。パラメーターを5つ選択し、ヒストグラムを3つしか選択しなかった場合、最後の2つのパラメーターには平均値のみが表示されます。パラメーターにヒストグラムがある場合、アイコン **■** はヒストグラムと同じ色で表示され、それ以外の場合は灰色で表示されます。

ロググラフ

ロググラフは、パラメーターおよびチャンネル番号（該当する場合）を示します。横軸は時間、縦軸はパラメーターの値です。縦軸の表示倍率は、表示されている時間間隔での実測値に応じて調整されます。

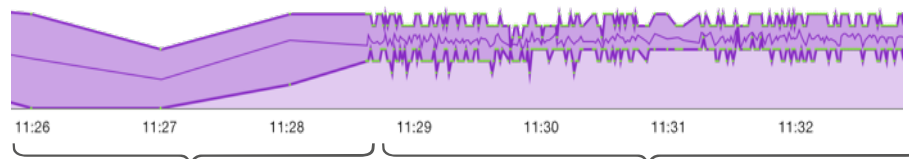


各グラフには、最大、最小、平均（細い線）の3本のカーブが描かれます。カーブの途中にあるグレーの短いスペースは、ログが記録されていない時間を表わします（たとえば、上記の図では、火曜日の18:15から今日の10:10までログが記録されていません）。



カーブの近くに指で触れるか、カーブの近くをクリックします。記録点が別の色で表示され、指/マウスカursorに最も近い点についての詳細がバブル表示されます。詳細には、値、日時、およびそれを検出したNEXO機器の名前が含まれます。スライドすると、別の点についての詳細を表示できます。

記録の間隔は以下のとおりです。



最新5分前：NeMoは1分間隔にて最大、最小と平均を保存します。

直近5分間：1秒間隔にて最大、最小、平均を記録します。

時間軸でのナビゲーション

すべての記録点を最初から最後までスクロールするには、「Log Graph」セクションのヘッダーにある時間スライダーを左（古い）または右（最近）にドラッグします。時間スライダーに日にちが表示されます。

モバイル版ユーザーのみ

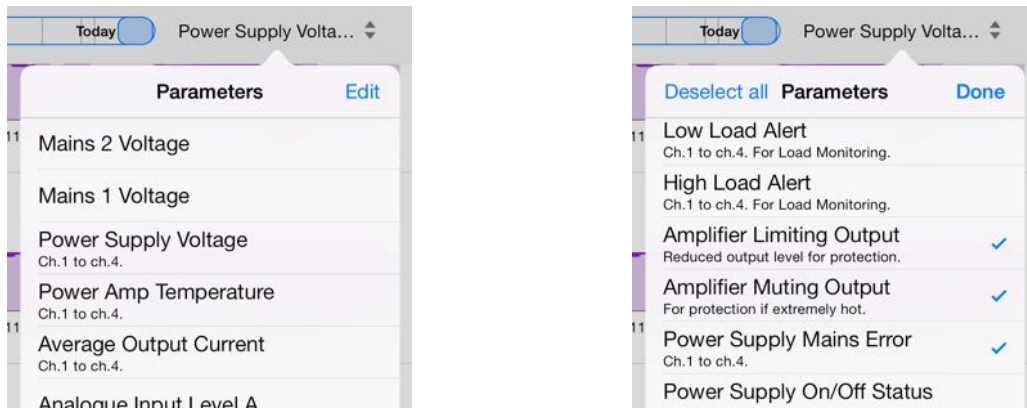
ズームインおよびズームアウトするには、画面に指を2本置き、近づけたり離したりします。数分から数日までを表示できます。

デスクトップ版ユーザーのみ

ズームインおよびズームアウトするには、時間スライダーの2つの小さい円のいずれかの中をクリックして左右に動かします。時間スライダーのカーソルが大きいほどズームは小さくなります。

パラメーターの選択

すべてのロググラフから1つのパラメーターをすばやく表示したり、表示するロググラフを設定したりするには、時間スライダーの右にある「Reach Parameter」コントロールをタップします。



新しく表示されたメニューで、表示するロググラフの行を選択します。

「Edit」をタップすると、表示するロググラフを選択できます。Log Recordを書き出すと、表示されたグラフもその中に含まれます。

Log Recordのセッションへの関連付け

NeMoのセッションでは、Log Recordに機器名、Dante ID、およびグループを表示する方法があります。デフォルトでは、Log Recordは現在開いているセッションに関連付けられます。ただし、オフラインまたはオンラインで、別のセッションに関連付けることができます。



これを行なうには、「Associated with XXX」を押して、新しく表示されたメニューでセッションを選択します。デスクトップ版のみ: リストには最近のセッションのみが表示され、空白にもできます。セッションを参照するには「Other...」をクリックします。

そのあと、名前とグループがLog Recordに渡され、セッションを削除または変更しても保持されます。関連付けられたセッションが現在開いているセッションの場合、ログビューが表示されるたびに名前およびグループは自動的に更新されます。

最初のセッションを削除して、そのセッションに関連付けられていたLog Recordをあとで2つめのセッションに関連付けた場合は、1つめのセッションの名前およびグループは失われます。

機器の選択

ログを表示する機器を選択するには、「View log on XXX」を押して、新しく表示されたメニューで機器、グループ、またはゾーンを選択します。これらはLog Recordが関連付けられているセッションのものです。

ヒント: 選択したパラメーターおよび機器

少数の機器のみ、および少数のパラメーターのみのログを表示するように選択できます。ただし、この選択は表示および書き出しにのみ機能し、接続されているすべてのNEXO機器のすべてのパラメーター値が常時記録されます。あとで、選択しなかった機器またはパラメーターを選択すると、それらの履歴を確認できます。

ログの書き出し

Log Recordは書き出しできます（間隔は1分）。Log Recordは2つの方法で書き出しできます。

圧縮テキストファイル

Excelで開いて高度な処理を行なえるプレーンテキストファイル「.txt」です。このテキストファイルはディスク領域を節約するために.zipファイルに圧縮されます。このテキストファイルはUTF-8でエンコードされ、1行ごとに改行され、列はタブで区切られます。

Log Recordファイル

NeMoで開くことができる「.nxlog」ファイルです。Log Recordを別のNeMoと共有するにはこの形式を使用します。Log RecordをNEXOに送信する場合もこの形式を使用します。

テキストファイルは以下のようになります。

Device	Device 1								Device 2		
Parameter	Parameter 1								Parameter 2	...	Parameter 1
Date	Ch.1		Ch.2		Ch.3		Ch.4		...		
Date 1	Min	Max	Min	Max	Min	Max	Min	Max			
Date 2											
...											

再度書き出ししても、以前のログは消去されないことに注意してください（書き出し日がファイル名の接尾辞に付くため）。

Log Recordを書き出すには、以下の手順を実行します（モバイル版ユーザーのみ）。

1. 「Log Records」リストを開きます（前述を参照）。
2.  をタップし、書き出すLog Recordを選択して、「Share (xx)」をタップします。
3. 表示されたアクティビティシートで、選択したLog Recordの共有方法を選択します。該当のファイルが、「ファイル共有」に書き出されるか、メールまたはメッセージに添付されるか、AirDrop経由で送信されます。

4. 「ファイル共有」を選択した場合は、モバイル端末をコンピューターに接続し、NEXO NeMoのサンドボックス内のファイルの中から書き出したファイルを読み出します。これは（NEXO_NeMo-Log...txt）のようなファイル名になっています。
5. このファイルをディスクに保存します。「*Plain text*」を選択した場合は、ExcelなどのCSV対応の表計算エディターで開きます。

Log Recordを書き出すには、以下の手順を実行します（デスクトップ版ユーザーのみ）。

1. 「Log」ウィンドウの左側にある「Log Records」リストで、書き出すLog Recordを選択します。
2. Log Recordビューの一番上で、「**Export...**」を押します。
3. Log Recordをディスクに保存するか、NEXOに送信するかを選択します。2つめのオプションを選択するとメーリングソフトウェアが開きます。
4. ディスクに保存する場合は、「Format」ポップアップボタンを押してテキストファイルとして保存するか、Log Recordファイルとして保存するか（前述を参照）を選択します。名前を選択して「**Save**」を押します。
5. 「*Plain text*」を選択した場合は、ExcelなどのCSV対応の表計算エディターで開きます。

Log Recordのリセットおよび消去

Log Recordのデータベースをリセットできます。Log Recordのサイズが超過した（100万行）直後にも、リセットするように求められます。

Log Recordをリセットするには、以下の手順を実行します。

1. ログビューを開き、リセットするLog Recordを選択します。
2. 「**Empty**」をタップします。

Log Recordを消去するには、以下の手順を実行します（モバイル版ユーザーのみ）。

1. 「Log Records」メニューを開きます（「Preferences」メニューまたはログビューから、前述を参照）。
2.  をタップし、削除するLog Recordを選択して「**Clear (xx)**」をタップします（または削除するLog Recordの行を左にスワイプして「**Delete**」をタップします）。

Log Recordを消去するには、以下の手順を実行します（デスクトップ版ユーザーのみ）。

1. 「Log」ウィンドウの左側にある「Log Records」リストで、消去するLog Recordを選択します。
2. 右クリックして「*Remove...*」を選択するか、バックスペースキーを押します。確定します。

アラート、タスク、およびシステムステータス

モバイル版ユーザーのみ

「Events」メニューにはすべてのアラートとタスクのリストが表示され、またシステムステータスの情報が表示されます。以下のボタンをタップすると「Events」メニューにアクセスできます。



または



これらのボタンはメインビューの左下角にあります（左のボタンは「Network」タブのみ）。

「Events」メニューでは、アラートはオレンジ色の行で表示され、タスクは青色の行でアニメーション表示されます。

デスクトップ版ユーザーのみ

「Tasks」メニューにはすべてのタスクに加え、接続されたデバイスに関する情報などが表示されます。このメニューを開くには、メインビューの一番下のバーの左側をクリックします。進行中のタスクがなく、NeMoがオンラインの場合は「Synchronized」と表示されます。注意: このテキストは一部の機器が応答していない場合やタスクが失敗した場合にも表示されます。これらの2つのイベントはアラートであり、「Alerts」メニューに表示されます。

「Alerts」メニューにはすべてのアラートが表示されます。このメニューを開くには、メインビューの一番下のバーの右側をクリックします。

システムステータスに関するその他の情報は、インスペクター ⓘ の「Status」タブの「Status」セクションに表示されます。

アラート

アラートは、接続または応答がない、機器の接続が切れるなど、ユーザーの注意が必要なシステム上で発生したイベントです。

同じ種類のアラートはまとめてグループ化され、1行に表示されます。初めて表示されるアラートは、その行に「•」が表示されます。「Events」メニューアイコンの上のバッジと、「Network」タブアイコンの上のバッジ（モバイル版のみ）には、最近のアラートの件数が表示されます。

アラート対象のNEXO機器のパラメーターのリストは、[付録A: 使用可能なNEXO機器のパラメーター](#)で確認できます。

タスク

タスクは、多くの場合、実行中のユーザーによってトリガーされます。

たとえば、ミュートボタンを押すと、「Events」/「Tasks」メニューにタスクが表示

され、「Events」 / 「Tasks」メニューボタンのアクティビティインジケーターがアニメーション表示されます。次に、NeMoがこの新しいミュートステータスをNEXO機器に送信します。そして、NEXO機器がコマンドを処理してNeMoにフィードバックを送信します。この最後の動作が完了すると、タスクが終了します。

一部のタスクは、を押すことでキャンセルできます。なお、コマンドの送信が完了したかどうかによって状態が変わるため、キャンセルしたあとのネットワークタスクの状態は未確定であることにご注意ください。

以下にタスクの例を示します。

- セットアップとシーンの読み込み（モバイル: アクティビティインジケーターなし）
- NEXO機器との同期（ページが表示され、NeMoが必要なパラメーター値をすべて受信していない場合）
- ユーザーの操作（ミュート、ボリューム、セットアップを呼び出し、貼り付けなど）、および元に戻す/やり直し
- ネットワークの更新
- コピー/貼り付け

システムステータス

ここには、NeMoのステータス（オンラインかオフラインか、ネットワークの更新中か）が表示されます。また接続品質（良い、普通、悪い）も示されます。接続品質の評価は、Wi-Fi/有線の接続および機器の応答に基づいて、NeMoが計算します。

接続品質が悪い場合、Wi-Fiおよび有線ネットワークを確認してください。機器の切断や、セットアップまたはシーンの呼び出しなどの操作により、一時的にネットワークの品質が低下している可能性があります。

アラートファイル

すべてのアラートは、自動的にテキストファイルに保存されます。このファイルは表計算ソフトウェアまたはテキストエディターで開くことができます。ファイルはUTF-8でエンコードされ、1行ごとに改行され、列はタブで区切られます。以下はファイルの表示例です。

Start date	End date	MAC address	Device's alias	Motive
Date 1				
Date 2				
...				

アラートファイルにアクセスするには、以下の手順を実行します（モバイル版ユーザーのみ）。

1. モバイル端末をコンピューターに接続します。モバイル端末のNEXO NeMoのサンドボックス内のファイルのうち、「NEXO_Nemo-Alerts.txt」ファイルを読み出します。
2. ディスクに保存し、ExcelなどのCSV対応の表計算エディターで開きます。

アラートファイルにアクセスするには、以下の手順を実行します（デスクトップ版ユーザーのみ）。

「Events」メニューを開いて「**View file**」を押します。

アラートのフィルタリング

アラートおよびタスクは、機器のエイリアス、MACアドレス、Dante ID、グループ、ゾーン、発生理由、または日時でフィルターできます。フィルターには「Events」/「Alerts」メニューの一番上にある検索フィールドを使用します。

日時でフィルターするには、たとえば「17:」と入力します。17:00から17:59の間に発生したアラートが表示されます。「17:15」と入力すると、17:15:00から17:15:59の間に発生したアラートが表示されます。

アラートの消去

アラートの消去には2つの方法があります。

- 「Events」メニューで「**Clear...**」を押します。以下のアクションシートが表示されます。

All alerts & alert file

アラートファイルの内容が消去され、「Events」メニューの内容がリセットされます。

All alerts

「Events」メニューの内容がリセットされます。アラートファイルは影響を受けません。

Only solved alerts

「End date」が「null」以外のアラートのみが「Events」メニューから削除されます。アラートファイルは影響を受けません。

Only non-recent alerts

「•」が付いていないアラートのみが「Events」メニューから削除されます。アラートファイルは影響を受けません。

- 「Preferences」から以下の手順を実行します（「[環境設定](#)」の項を参照）。

モバイル版の場合: 「Alerts and log」セクションで、「Reset alerts」の横にある「**Reset...**」をタップします。

デスクトップ版の場合: 「Alerts」タブを開き、「Alerts File」セクションで

「Reset...」を押します。

確認を求める警告メッセージが表示されます。これによってアラートファイルの内容が消去され、「Events」メニューの内容がリセットされます。

アラートの設定

アラート対象のパラメーターを選択できます。

1. 「Preferences」を開きます（「[環境設定](#)」の項を参照）。
2. モバイル版の場合: 「Alerts and log」セクションで、「Configure alerts」をタップします。

デスクトップ版の場合: 「Alerts」タブを開きます。

3. リストから、アラート対象にするパラメーターを選択します。パラメーターの選択を解除した場合、そのパラメーターのアラートは「Events」メニューおよびアラートファイルに含まれなくなります。

レッドアラート

レッドアラートは、いくつかのトリガー条件を満たしたときにモーダルメッセージとして表示されます。レッドアラートを作成および有効にするには、以下の手順を実行します。

1. 「Preferences」を開きます（「[環境設定](#)」の項を参照）。
2. モバイル版の場合: 「Alerts and log」セクションで、「Configure red alerts」をタップします。

デスクトップ版の場合: 「Red Alerts」タブを開きます。

3. レッドアラートのトリガーとなるパラメーターをチェックします。モバイル: 特定のパラメーターに対してレッドアラートを初めて有効にする場合、レッドアラートの設定ビューが表示されます。それ以外の場合にレッドアラートの設定を更新するには、「Edit」をタップして、行をタップする必要があります。
4. 必要に応じてレッドアラートを設定します。以下を設定する必要があります。

Condition on value

パラメーター値が[下限のスレッシュホールド (lower threshold) と上限のスレッシュホールド (upper threshold)]の間に入った場合、レッドゾーンに入っていることとなります。

下限のスレッシュホールドが上限のスレッシュホールドより高い値に設定されている場合、パラメーター値がわずかにでも上記の範囲外に出るとレッドゾーンに入っていることとなります。

Condition on time

時間のスレッシュホールド (time threshold) と期間 (time period) が等しい場合、時

間のスレッシュホールドより長い時間連続でレッドゾーンに入っていると、レッドアラートがトリガーされます。

スレッシュホールドが期間より短い場合、期間中にレッドゾーンに入っている時間が統計的に時間のスレッシュホールドを超えると、レッドアラートがトリガーされます。

Time before reminder

アラートがトリガーされると、この時間の間は再度トリガーされません。

以下に例を示します。

下限のスレッシュホールド= 10、上限のスレッシュホールド= 20、時間のスレッシュホールド= 2秒、期間= 10秒に設定したとします。10秒間で2秒以上、値が10から20の間になった場合に、レッドアラートがトリガーされます。

下限のスレッシュホールド= 20、上限のスレッシュホールド= 10、時間のスレッシュホールド= 5秒、期間= 5秒に設定したとします。連続で5秒を超えて、値が厳密に10未満または10超になった場合に、レッドアラートがトリガーされます。

アクティビティ

アクティビティメッセージは常に記録され、アクティビティコンソールで内容を確認できます。アクティビティコンソールは、「Window」>「Network and Activity Console」で表示できます。表示するアクティビティは、以下から選択できます。

Lifecycle

オンライン、オフライン、保存されたセッションなど、NeMoのライフサイクルに関する一般的なメッセージです。

Direct Control

NXAMPやその他のDirect Control機器の検出とコントロールに関するメッセージです。

Serial Control

DTDやその他のSerial Control機器の検出とコントロールに関するメッセージです。

Transaction

デバイスへの書き込み操作に関するメッセージです（ボリューム書き込みの成功または失敗など）。

Download

リモートサーバーのダウンロードに関するメッセージです（新しいプリセットライブラリの確認およびダウンロードなど）。

File Transfert

FTP操作に関するメッセージです（NXAMPmk2への画像の書き込み、NXAMPmk2のシーンの読み込みなど）。

Emailing

ログやアラートのメール送信システムに関するメッセージです（メールの送信など）。

Device Alert

シンプルなアラートです（前述を参照）。これらのアラートは、「Alerts」ファイルだけでなく、一般的なアクティビティログにも表示されます。

Device Red Alert

機器のレッドアラートです（前述を参照）。これらのアラートは、「Alerts」ファイルだけでなく、一般的なアクティビティログにも表示されます。

アクティビティログは、コンソールに表示されるだけでなく、ファイルにも書き込まれます。このファイルを表示するには、「**Go to files**」を押します。すべてのメッセージがこのファイルに記録され、上記のフィルターは適用されません。

コンソールをテキストファイルに書き出すこともできます。この場合は、上記のフィルターが適用されます。これを行なうには、「**Export**」を押します。

アクティビティログファイルを消去せずにコンソールを消去するには、「**Clear**」を押します。

エラーメッセージ

NeMoの使用中はさまざまなエラーが発生する可能性があります。その場合、警告メッセージが表示され、複数のエラー解決策が提示されます。エラーの主な原因は、機器が応答していない、または無線接続の品質低下によるものです。

機器のコントロールに問題が発生している場合や、機器に接続できない場合、Wi-Fi/有線の接続が不安定であるか、設定が最適でないか、他社製の機器が帯域幅を使いすぎている可能性があります。本マニュアルの「[使用前の準備](#)」の項を参照してください。

応答なしの機器

NeMoを接続すると、NeMoは機器が応答していないかを判断し、応答していない場合は、他の機器のコントロールの障害にならないように自動的にその機器のコントロールを停止します。これはたとえば、機器が予想外にビジー状態になってNeMoの要求を無視したり、接続の不具合が発生したり、ダウンロードモードになったときに起こります。その場合、機器の問題を特定するか、ファームウェアを更新するか、電源を入れなおしてみます。

NeMoが指定の機器に特定のコマンドを送信できないと判断することがあります。その場合、警告メッセージが表示され、機器を「応答なし」に手動で変更できます。

機器が応答していないという判断が正しくないと感じた場合、更新ボタン  を押して、NeMoに機器のコントロールを再試行させることができます。

ヒント: 応答しない機器の自動更新

機器が応答していない場合、機器がまだ初期化中でリモートコントロールの準備が整っていない可能性があります。数秒後に「更新」すると、機器をコントロールする準備ができている場合があります。この問題を回避するために、NeMoには自動更新機能があり、応答していない機器の更新を定期的に試行します。自動更新を有効にするには、以下の手順を実行します。

1. 「Preferences」を開きます（「[環境設定](#)」の項を参照）。
2. モバイル版の場合: 「Auto-refresh」のチェックボックスをオンにします。

デスクトップ版の場合: 「General」タブで、「Automatically refresh not responding devices」のチェックボックスをオンにします。

付録A: 使用可能なNEXO機器のパラメーター

NXAMP

名前	説明	Nemoでのコントロール場所	ログ	アラート
Load	NXAMPのファームウェアのバージョン。	Network」および「Setup」タブ（読み取り専用）		
Inpatch（チャンネルごと）	アナログ（A～D）およびネットワーク（E～H）入力と、プロセッシングチャンネル（1～4）間のパッチング。	Control」タブ		
Volume（チャンネルごと）	チャンネルのボリューム（dB）。	「Control」タブ	✓	
Delay（チャンネルごと）	チャンネルのディレイ（ms、s、またはft）	「Control」タブ	✓	
Gain（チャンネルごと）	チャンネルのゲイン（dB）。ゲインとボリュームの設定は同じになります。アンプは、デジタルまたはアナログのゲインを自動的に組み合わせて、ダイナミックレンジを最適化します。	「Control」タブ	✓	
Array EQ（チャンネルごと）	現在のセットアップに応じてカットオフ周波数が固定された、ローシェルフまたはハイシェルフフィルターのゲイン（dB）。Array EQを使用して、グラウンドスタッキングまたはラインアレイの効果を補正できます。	「Control」タブ	✓	
Headroom（チャンネルごと）	ゲインレンジの減少（dB）。アナログ/デジタル変換を強化し、それによってバックグラウンドノイズを改善して、歪みを低減します。多くの場合、0 dBに設定されます。静かなサウンドにはヘッドルームを小さくします。その場合は、クリッピングに注意します。	「Control」タブ	✓	
Cabinet（チャンネルごと）	チャンネルに関連付けられているキャビネットの名前。	「Control」タブ（読み取り専用）、 「Setup」タブ		
Setup number	現在のスタンダードセットアップ（キャビネットの組み合わせに調整されたプリセット）の番号。	「Setup」タブ（スタンダードパネル）	✓	
Custom setup descriptors（チャンネルごと）	チャンネル（ブリッジ接続されている場合はチャンネルのペア）に関連付けられた、ラウドスピーカー用に調整されたシリーズ/キャビネット/キャビネットモード/クロスオーバーモードの設定。	「Setup」タブ（カスタムパネル）		

Scene number	最後に呼び出されたシーンの番号（シーンには、パッチング、ボリューム、ディレイ、セットアップなど、NXAMPの設定が保存されています）。	「Scene」タブ	✓	
Stand-by	NXAMPのスタンバイモード。オンの場合、パワーアンプに使用される大型電源はオフになり、コントローラーは低電力モードになります。	「Control」タブ	✓	✓
Mute（チャンネルごと）	チャンネルのミュートステータス。	「Network」および 「Control」タブ	✓	
Overmute/Global mute	4つのチャンネルのミュートステータス。Overmuteをオンにした場合、チャンネルのミュートステータスは保持されます。NeMoでは、4つのチャンネルをミュートするとOvermuteがオンになります。	「Network」および 「Control」タブ	✓	
Input level (analog)	アナログ入力（A～D）のアナログ/デジタルコンバーターの出力におけるピークレベル（dBFS）。最大レートは25 Hz、精度は±3 dBです。	「Network」タブ（グループマップのみ） および 「Control」タブ	✓	
Input level (network)	ネットワーク入力（E～H）のピークレベル（dBFS）。最大レートは25 Hz、精度は±3 dBです。	「Network」タブ（グループマップのみ） および 「Control」タブ	✓	
Output current（チャンネルごと）	チャンネルのピーク電流（dBFS、0 dBFSは電流センスコンバーターのクリップレベル）。最大レートは25 Hz、精度は±3 dBです。null以外の値は、チャンネルに負荷がかかっていることを示します。	「Network」タブ（グループマップのみ） および 「Control」タブ（短縮形「A」を使用）	✓	
Output voltage（チャンネルごと）	チャンネルのピーク電圧（dBFS、0 dBFSは電圧センスコンバーターのクリップレベル）。最大レートは25 Hz、精度は±3 dBです。null以外の値は、出力に信号が送信されていることを示します。	「Network」タブ（グループマップのみ） および 「Control」タブ（短縮形「V」を使用）	✓	
Mains 1 Voltage	NXAMPの背面にあるMAINS 1端子で測定された主電源の電圧（V）（NXAMP4x4の場合、NXAMP4x1では不使用）。		✓	
Mains 2 Voltage	NXAMPの背面にあるMAINS 2端子で測定された主電源の電圧（V）（NXAMP4x4の場合、NXAMP4x1ではMAINS端子）。		✓	

Power Supply Voltage (チャンネルごと)	電源供給パワーアンプのチャンネルの出力電圧 (V)。		✓	
Power Amp Temperature (チャンネルごと)	アンプのチャンネルの温度 (°C)。		✓	
Low and High Load Alert (チャンネルごと)	NXAMPのロードモニタリング機能（詳細についてはユーザーマニュアルを参照）と組み合わせて使用する必要があります。この機能を使用すると、高域のパイロットトーンをNXAMPに送り、ロードのインピーダンスをモニタリングできます。チャンネルで測定されたインピーダンスがユーザー指定の範囲外になるか、NXAMPが出力インピーダンスを測定できない場合（パイロットトーンを受信していない、チャンネルがミュートされているなど）、このアラートがトリガーされます。		✓	✓
Amplifier limiting output	Tアンプは、プロテクトのために出力レベルを下げる必要があります（温度が上昇しすぎた場合）。出力レベルは、パワーアンプのヒートシンクのいずれかが70°Cに達すると3 dB下げられ、80°Cを超えるとさらに3 dB下げられます。		✓	✓
Amplifier muting output	Tアンプは、プロテクトのために出力をミュートする必要があります（ヒートシンクが90°Cを超える異常な温度になった場合、またはDC出力が検出された、電源の出力レベルが低いなど、チャンネルに問題が発生した場合、詳細についてはユーザーマニュアルを参照）。		✓	✓
Power Supply Overtemperature (チャンネルごと)	電源のヒートシンクの温度センサーで異常温度が検出されています。		✓	✓
Power Supply Mains Error (チャンネルごと)	主電源の電圧が範囲外です（NXAMP Cバージョンでは150 V～288 V、Wバージョンでは230 Vモードで開始、Uバージョンでは60 V～150 V、Wバージョンでは120 Vモードで開始）。		✓	✓
Power Supply On/Off Status (チャンネルごと)	電源がソフト起動を完了して準備状態になると「1」、それ以外の場合は「0」になります。		✓	
Power Supply Starting Status (チャンネルごと)	電源が起動すると（ソフト起動）「1」になります。		✓	
Power Supply Output Voltage Error (チャンネルごと)	電源の出力が範囲外です（10V～250V DC）。		✓	✓

Power Amp DC Output Alert (チャンネルごと)	指定のアンプのチャンネルの出力電圧値が10Vを超えています。		✓	✓
Power Amp Overtemperature (チャンネルごと)	パワーアンプの温度超過値（温度超過なし、>70°C（出力を3dB低下）、>80°C（出力を6dB低下）、>90°（出力をミュート））。		✓	✓
Peak Limiter (チャンネルごと)	アンプをプロテクトするためにチャンネルでピークリミッターが作動しています。	オレンジ色のLED (「Network」および「Control」タブ)	✓	✓
Protection (チャンネルごと)	スピーカーのプロテクト（変位または温度）。	オレンジ色のLED (「Network」および「Control」タブ)	✓	✓
Amp protect	Pアンプのプロテクトステータス。過熱、DC出力、短絡などによる動作不良のためにプロテクトされている場合、1つまたは複数の出力が低下またはミュートされます。LEDインジケータとLCDディスプレイの組み合わせの意味の詳細については、ユーザーマニュアルを参照してください。	オレンジ色のLED (「Network」および「Control」タブ)	✓	✓
Sense (チャンネルごと)	出力で特定のレベルの電流が検出されています（キャビネットが接続され、十分な信号が流れています）。	緑色のLED (「Network」タブ)	✓	

上記のパラメーターの詳細については、NXAMPのユーザーマニュアルを参照してください。

DTD

名前	説明	Nemoでのコントロール場所	ログ	アラート
ファームウェアバージョン	DTDのファームウェアのバージョン。	「Network」、 「Control」、「Recap」、 および「Setup」タブ（読み取り専用）		
Prepatch (プロセッシングごと)	アナログ、AES/EBUまたはデジタル入力とLおよびRのプリプロセッシングチャンネルの間のパッチ。	「Control」タブ		

EQ (プロセッシングごと)	プリプロセッシングEQ。EQはオン/オフできます。	「Control」タブ		
Inpatch (チャンネルごと)	LおよびRのプリプロセッシングチャンネルとMain R、Main L、Subチャンネルの間のパッチ。「L+R」を選択すると、自動的に-6 dBのゲインが内部的に適用されます。	「Control」タブ		
Front Panel Gain	DTDのフロントパネルで設定されるゲイン (dB)。この値はNeMoでは読み取り専用です。	「Control」タブ	✓	
Gain (per ch.)	チャンネルのゲイン (dB)。このゲインステップはFront Panel Gainに加算されます。	「Control」タブ	✓	
Delay (チャンネルごと)	チャンネルのディレイ (ms、s、またはft)	「Control」タブ	✓	
Cabinet (チャンネルごと)	チャンネルに関連付けられているキャビネットの名前。Main RとMain Lのキャビネットは同じです。このセットアップモードはフロントパネルから設定できません (広帯域、ユーザーまたはクロスオーバー)。ユーザーモードの場合、クロスオーバーはNeMoで変更できます。	「Control」タブ (読み取り専用)、「Setup」タブ		
Input level (analog)	アナログ入力のアナログ/デジタルコンバーターの出力におけるピークレベル (dBFS)。	「Network」タブおよび「Control」タブ	✓	
Input level (AES/EBU)	ステレオAES/EBU入力のピークレベル (dBFS)。	「Network」タブおよび「Control」タブ	✓	
Input level (digital)	USBまたはDanteデジタル入力のピークレベル (dBFS)。	「Network」タブおよび「Control」タブ	✓	
Output level (チャンネルごと)	-60 dB ~ +0 dBでの出力レベル。	「Network」タブおよび「Control」タブ	✓	
Compressor (チャンネルごと)	ユーザープロセッシングチャンネルのコンプレッサー。このコンプレッサーはNEXOの圧縮よりも優先されます。	「Control」タブ		
Compressor level (チャンネルごと)	0 dB ~ 30 dBでのユーザー圧縮レベル。	「Network」タブおよび「Control」タブ	✓	
Lock	リモートコントロールのロックの有無。	「Control」タブ	✓	

上記のパラメーターの詳細については、DTDのユーザーマニュアルを参照してください。

Appの不具合を発見した場合: technical@nexo.frまでご連絡ください。みなさまのご協力をお願いいたします。

NEXO SAは、機器、本ソフトウェア、および本マニュアルの不適切な使用により故障した場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。

本ソフトウェアおよび本マニュアルの排他的著作権はNEXO SAが保有しています。NEXO SAの書面による事前の許可なく、本ソフトウェアまたは本マニュアルの内容の全部または一部を複製または複写することは禁止されています。

本マニュアルで使われているスクリーンショットは、言語やバージョンによって異なる場合があります。

Apple、Mac、iPhone、およびiPadは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。EtherSoundおよびEtherSoundロゴは、Digigram S.A.の商標または登録商標です。DanteおよびDanteロゴは、Audinate Pty Ltd.の商標です。Wi-FiはWi-Fi Allianceの登録商標です。Windowsは、Microsoft Corporationの登録商標です。Androidは、Google LLCの登録商標です。その他記載されている商標は各社の商標です。

NEXO SA
PARC D'ACTIVITE DE LA DAME JEANNE
F-60128 PLAILLY

Phone: +33 3 44 99 00 70

Fax: +33 3 44 99 00 30

Email: info@nexo.fr

Web site: www.nexo-sa.com